

会津若松市の取組に関する市民意識調査 結果報告

平成27年4月

調査概要

※市民の方々にご協力いただきました。

1 調査の目的

現行の第6次会津若松市長期総合計画に基づく市の施策、取組について、市民の皆様のお考えや意見を聴取し、平成29年度を始期とする次期長期総合計画策定における基礎資料とする。また調査を通し「地域活力の再生に向けた取組み」に位置づけた取組や地域の課題に関する意識の共有も図っていく。

2 調査対象

会津若松市に住所を有する満18歳以上の市民4,000人

3 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

4 調査期間

平成26年9月24日(水)から
平成26年10月20日(月)まで

5 調査方法

郵送による配布及び回収

6 調査内容

- 取組にかかる調査58項目(選択式47項目+自由記述式11項目)
 - 健やかで思いやりのあるまちづくりについて
 - 豊かな心と個性を育むまちづくりについて
 - 活力あるまちづくりについて
 - 自然にやさしく安全で住みやすいまちづくりについて
 - 快適で利便性の高いまちづくりについて
 - パートナーシップのまちづくりについて
 - 市政運営について
 - 市役所の庁舎について
 - スマートシティ会津若松について
- 基本施策にかかる満足度調査(選択式28項目+優先3項目)
- フェイスシート
- 自由意見欄

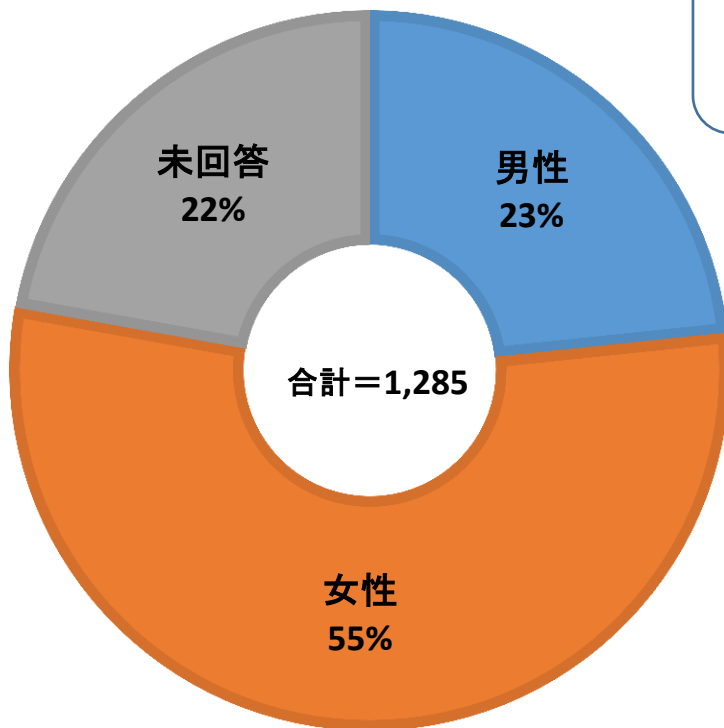
7 回収状況

配布数	回収数	回収率
4,000	1,285	32.1%

調査結果(属性)

アンケートに回答いただいた市民の皆様について

性別



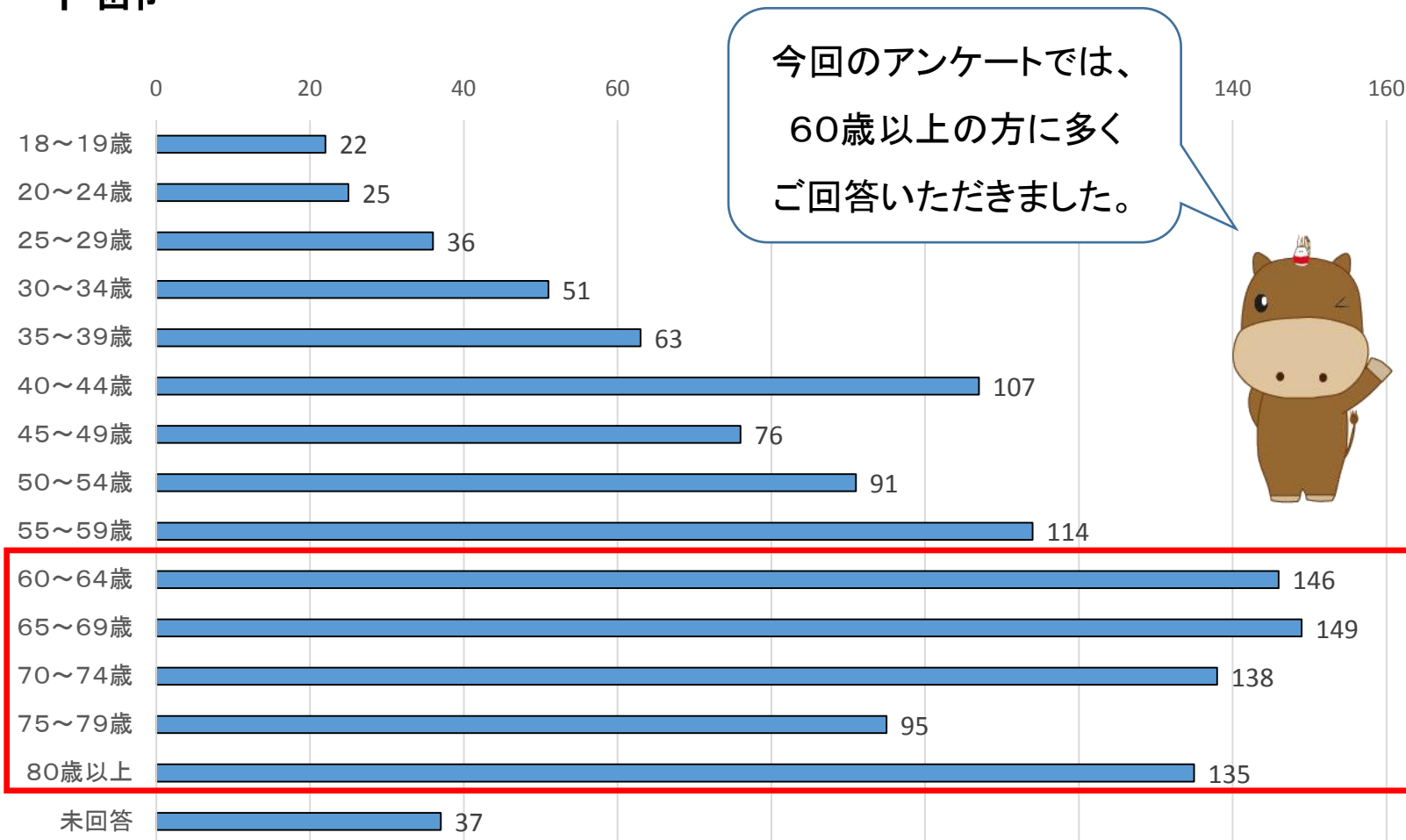
全回答者のうち
55%が女性でした！



選択肢	回答数	構成比
男性	300	23%
女性	700	55%
未回答	285	22%
合計	1,285	100%

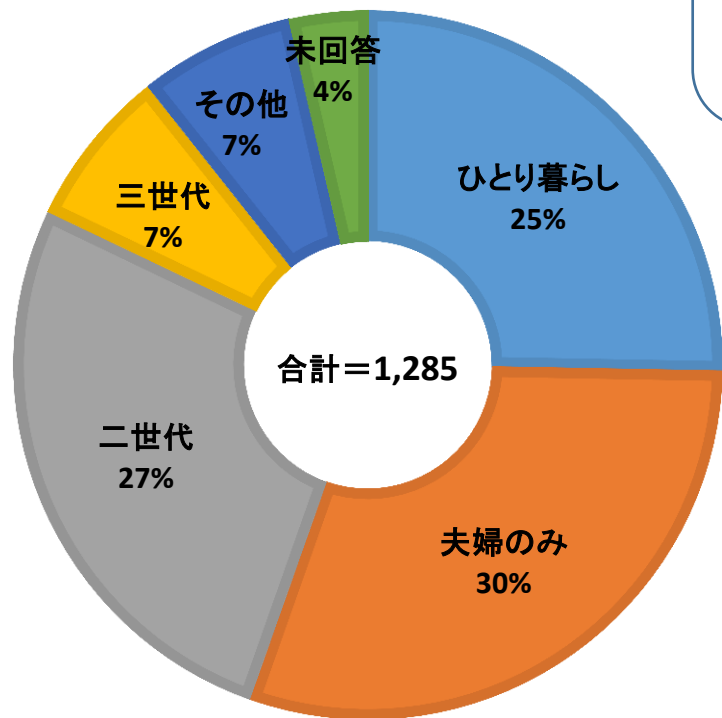
アンケートに回答いただいた市民の皆様について

年齢



アンケートに回答いただいた市民の皆様について

世帯構成



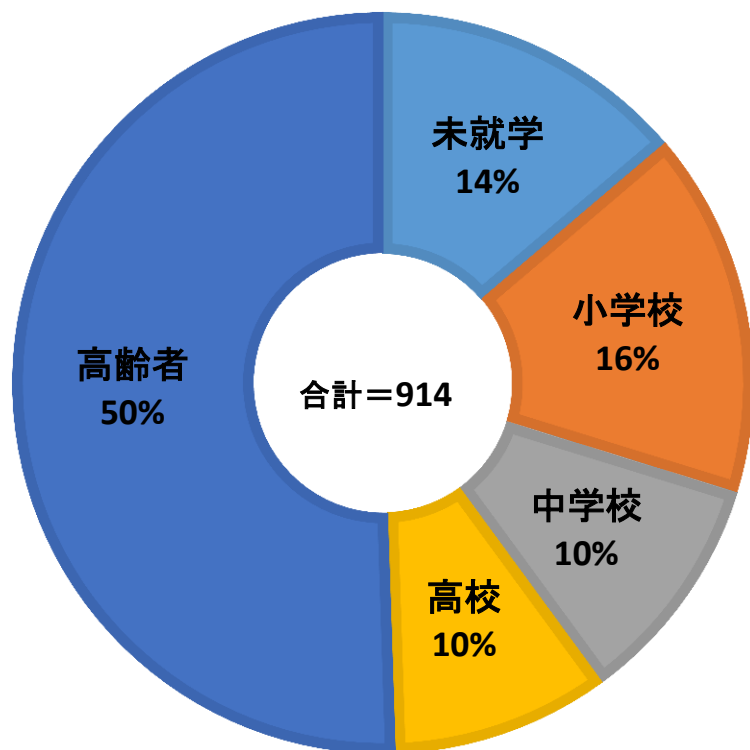
夫婦のみ世帯30%
二世帯の世帯が27%
ひとり暮らし世帯が25%
といった結果になりました。



選択肢	回答数	構成比
ひとり暮らし	325	25%
夫婦のみ	387	30%
二世帯	343	27%
三世代	93	7%
その他	91	7%
未回答	46	4%
合計	1,285	100%

アンケートに回答いただいた市民の皆様について

同居の家族（家族構成でひとり暮らし、未回答以外）



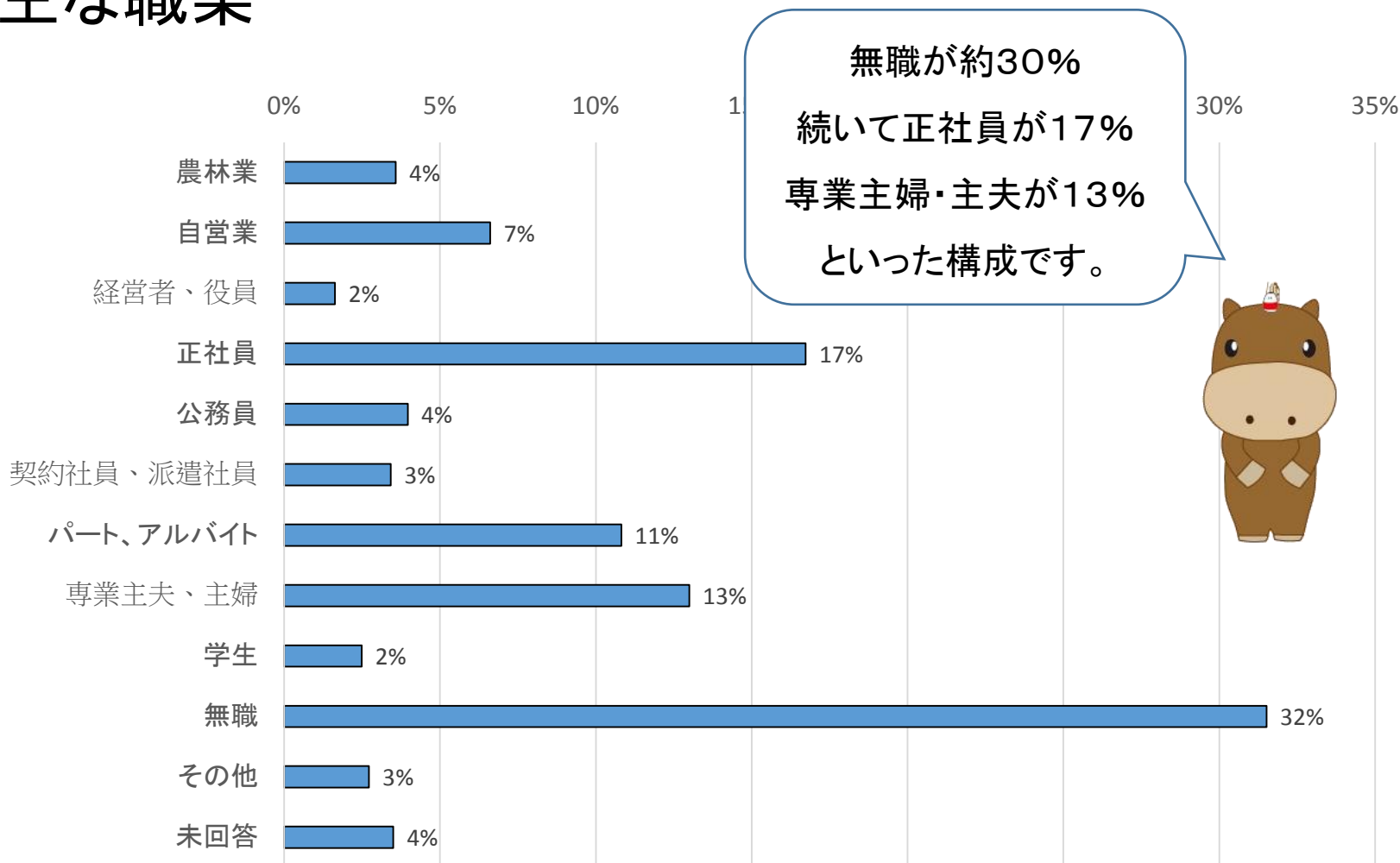
年齢の構成と同様に
高齢者が50%以上
になっていますね。



選択肢	回答数	構成比
未就学	107	14%
小学校	124	16%
中学校	79	10%
高校	74	10%
高齢者	392	50%
合計	914	100%

アンケートに回答いただいた市民の皆様について

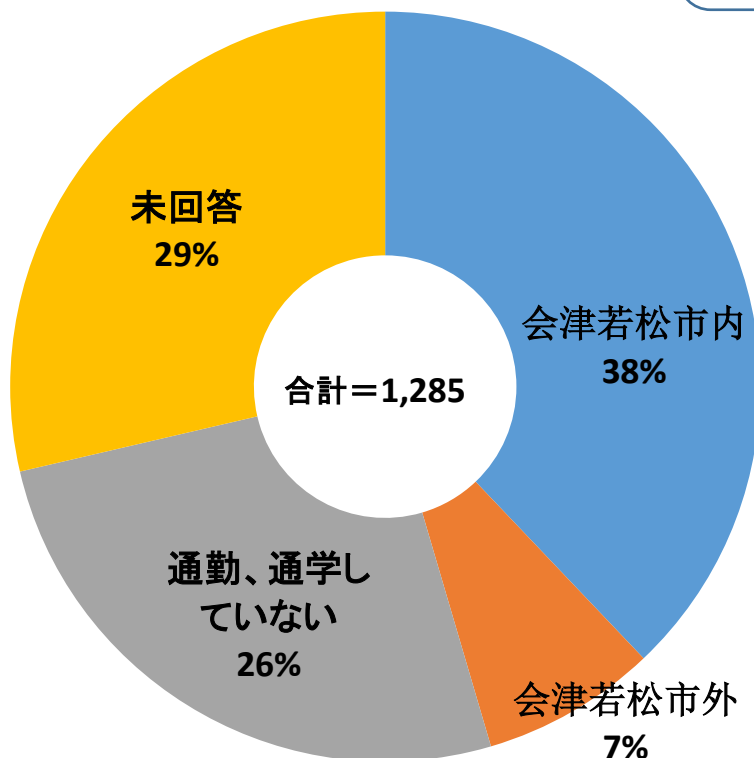
主な職業



アンケートに回答いただいた市民の皆様について

通勤・通学先

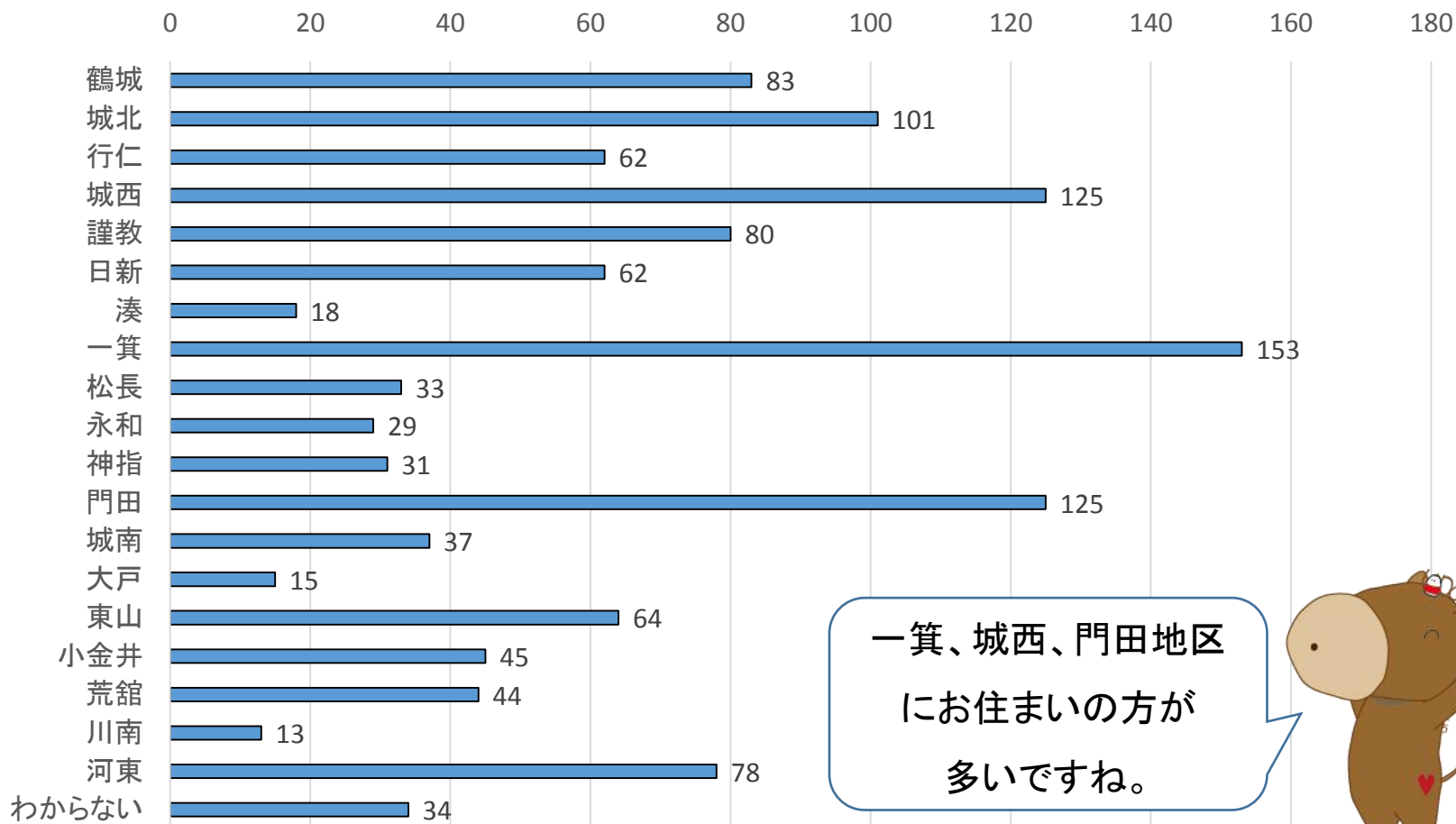
会津若松市内の方が
約4割と一番多いです。



選択肢	回答数	構成比
会津若松市内	487	38%
会津若松市外	97	7%
通勤・通学していない	333	26%
未回答	368	29%
合計	1,285	100%

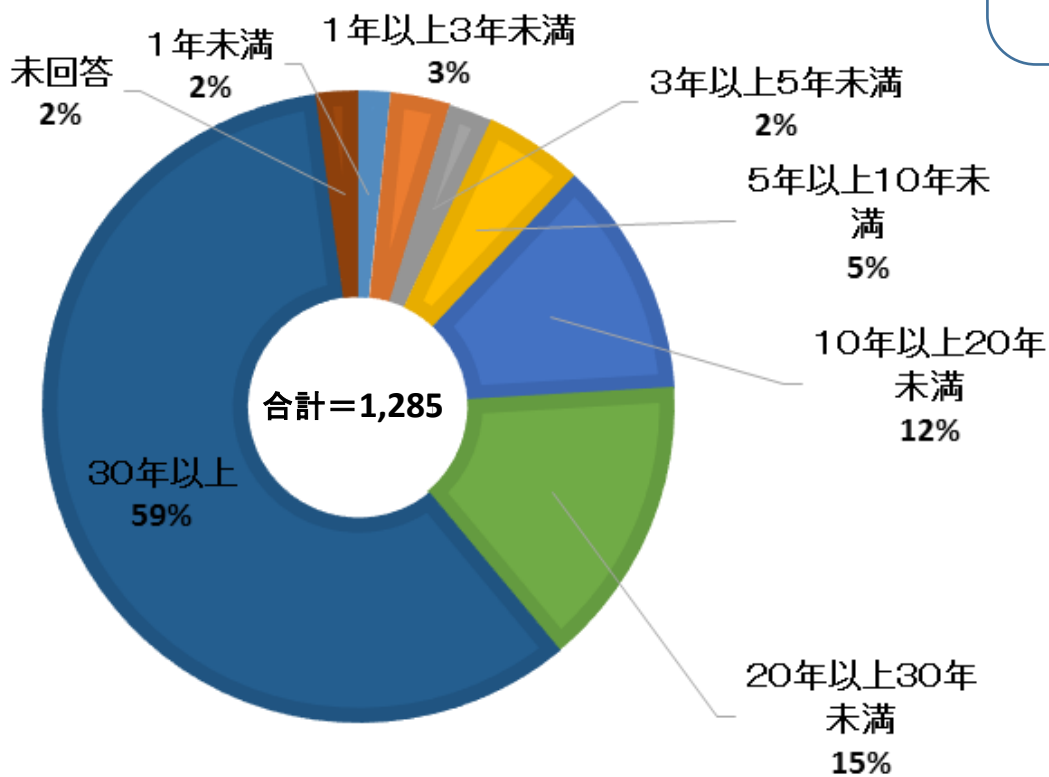
アンケートに回答いただいた市民の皆様について

居住地域



アンケートに回答いただいた市民の皆様について

本市にお住まいの期間



30年以上
お住まいの方が
6割でした。



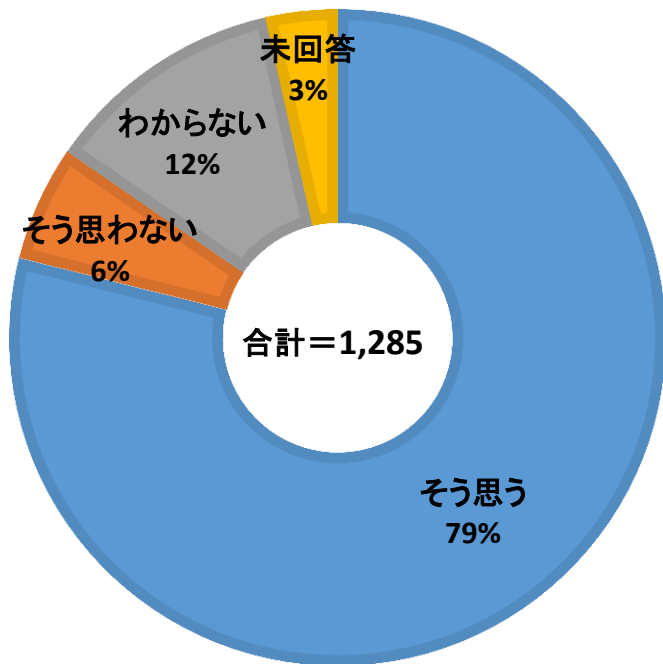
選択肢	回答数	構成比
1年未満	21	2%
1年～3年未満	39	3%
3年～5年未満	29	2%
5年～10年未満	65	5%
10年～20年未満	155	12%
20年～30年未満	192	15%
30年以上	757	59%
未回答	27	2%
合計	1,285	100%

調査結果(設問)

子供たちの夜間・休日医療の充実

健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

問1 市では、安心して子供を産み育てる環境づくりを進める取組の一つとして、18歳以下の皆さんの医療費助成や夜間、休日など、子どもたちの医療体制の充実に努めています。この取組は安心して子どもを産み育てるために有効だと思いますか？
(○は1つ)



約8割の方が
「有効だ」と
回答しています。



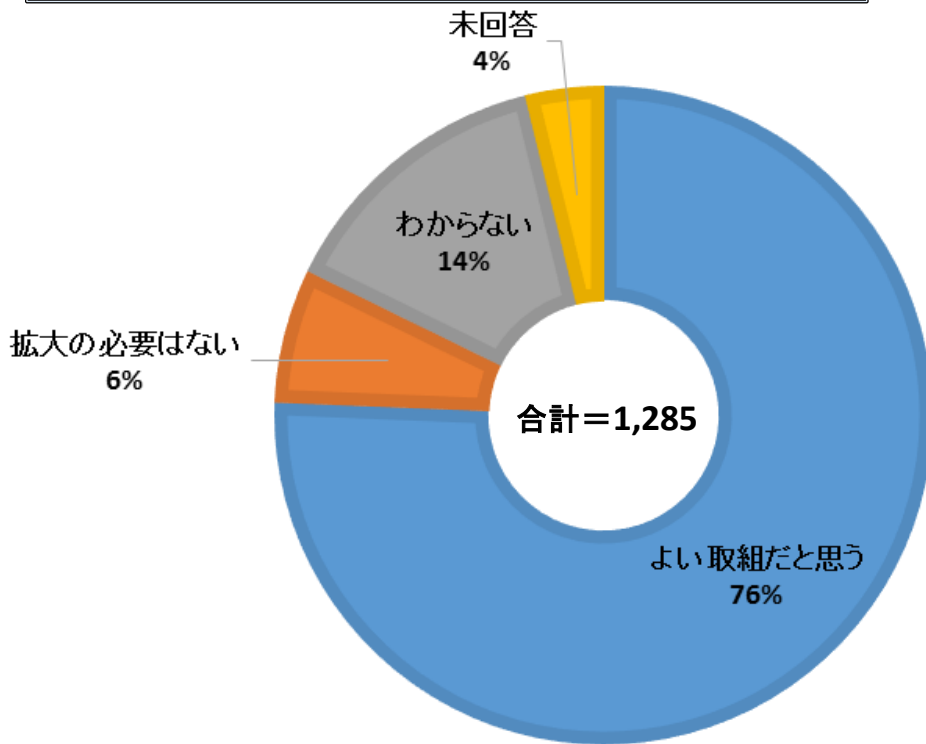
選択肢	回答数	構成比
そう思う	1,014	79%
そう思わない	73	6%
わからない	153	12%
未回答	45	3%
合計	1,285	100%

こどもクラブの対象年齢の拡大

健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

問2 こどもクラブを利用できる年齢については、現在の小学3年生までから、小学6年生までに拡大する予定です。
この取組についてどう思いますか？
(○は1つ)

8割近くの方が「よい取組みだ」と感じています。

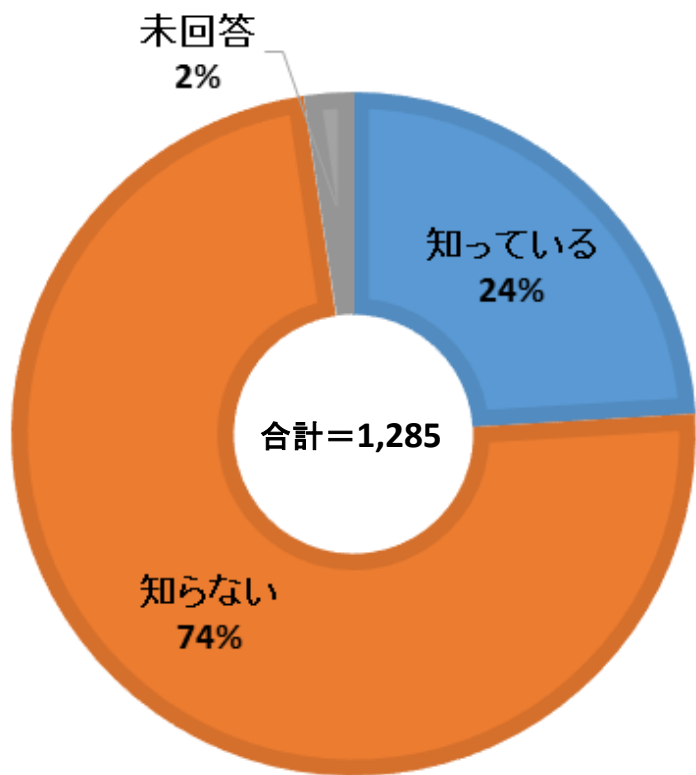


選択肢	回答数	構成比
よい取組みだと思う	972	76%
拡大の必要はない	85	6%
わからない	179	14%
未回答	49	4%
合計	1,285	100%

孤立死・孤独死防止の取組み

健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

問3 市では、高齢者の方々等の孤立死・孤独死を防ぐため、様々な事業者と連携した「孤立死防止等ネットワーク」を設けています。この取組を知っていますか？（○は1つ）



約8割の方が
「知らない」と
回答しています。



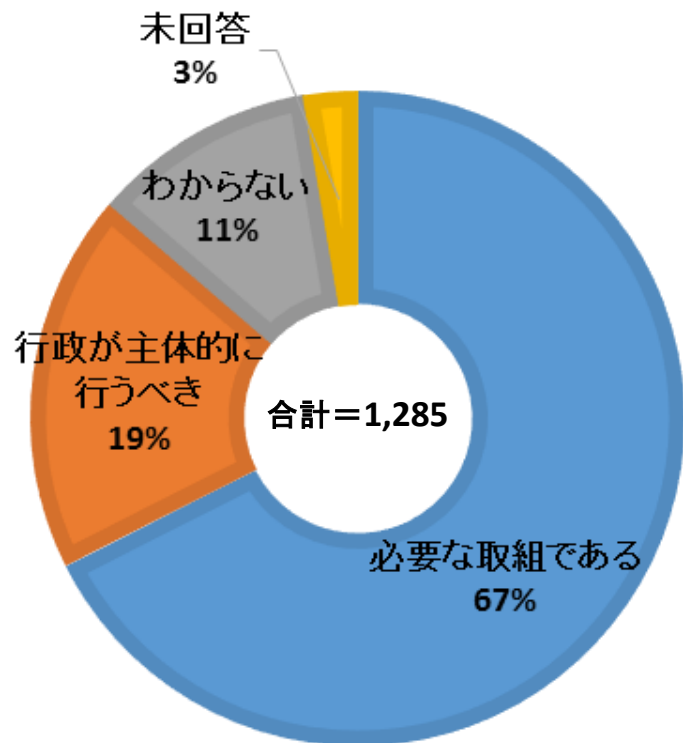
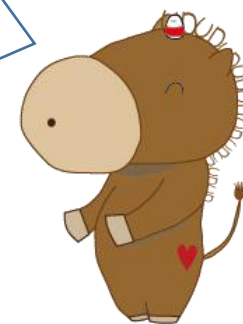
選択肢	回答数	構成比
知っている	309	24%
知らない	946	74%
未回答	30	2%
合計	1,285	100%

地域で支えあう仕組みの必要性

健やかで思いやりのあるまちづくりの取組について

問4 市では、「地域福祉計画」の策定を進めており、高齢者や障がいのある方々、子どもたちが地域で安心して生活できるよう、地域の皆さん同士で支えあう仕組みを作っていこうとしています。こうした地域で支えあう仕組みについてどう思いますか？（〇は1つ）

「必要な取組である」が
67%と、全体の約7割
の方が必要であると
回答しています。

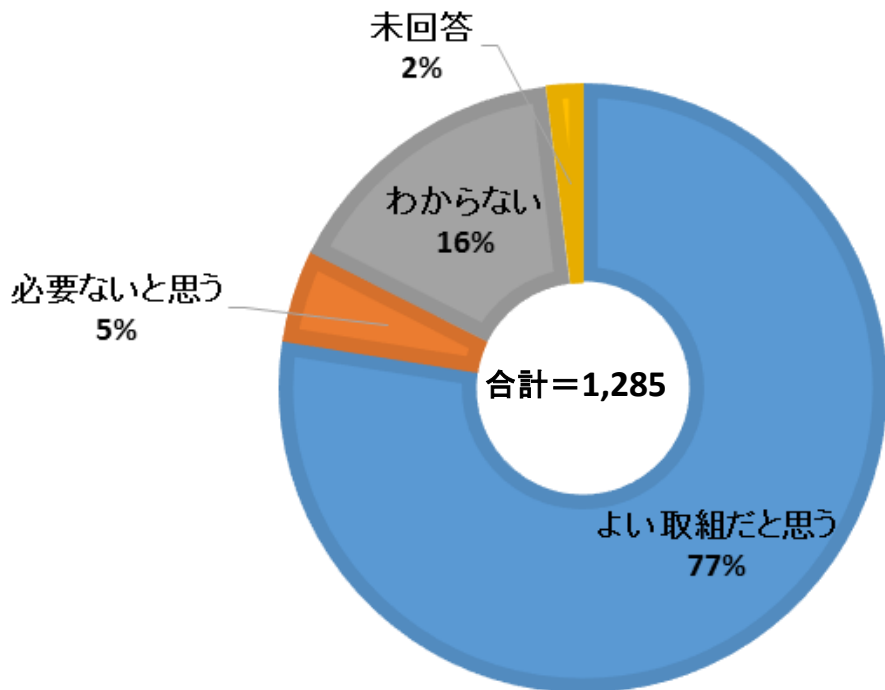


選択肢	回答数	構成比
必要な取組である	868	67%
行政が主体的に行うべき	241	19%
わからない	142	11%
未回答	34	3%
合計	1,285	100%

医療データの活用

問6 市では、市民の皆さん一人ひとりの医療データを皆さん自身が管理することで、そのデータに基づく、適切な医療、健康情報の提供や緊急時に活かす(これまでの病歴や処方された薬などを把握することで緊急時の対応を速やかに行うなど)ことができる取組を検討しています。こうした取組についてどう思いますか？(○は1つ)

「よい取組みだと思う」が77%と、全体の約8割の方がよい取組みだと感じています。



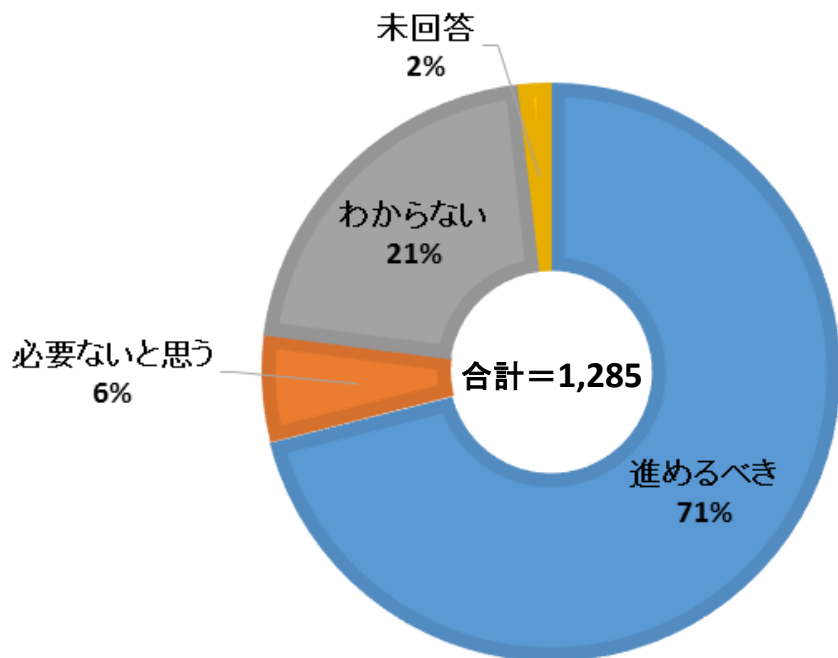
選択肢	回答数	構成比
よい取組みだと思う	996	67%
必要ないと思う	63	19%
わからない	201	11%
未回答	25	3%
合計	1,285	100%

国際感覚を持った次世代の育成

豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について

問7 【未来デザイン2050プロジェクト】市では、野口英世博士の功績を顕彰して創設された「野口英世アフリカ賞」(内閣府)を契機に、市内の高校生が在京の各国大使館やJICA等の国際貢献団体等を訪問するなど、異文化理解や語学習得を目指すプロジェクトに取り組んでいます。国際感覚を持った次世代の育成のため、こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？(○は1つ)

「進めるべき」が71%と、約7割の方が積極的に進めるべきと思っています。

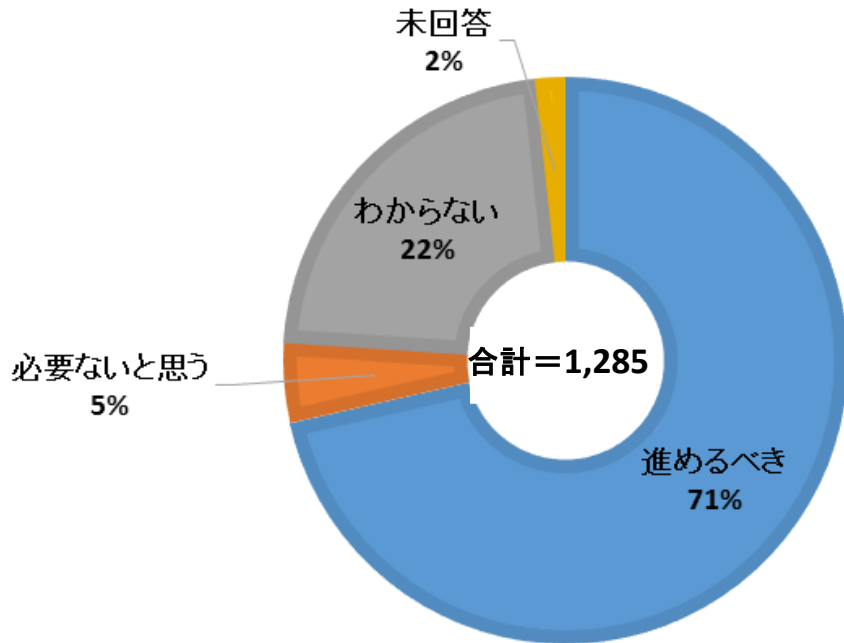


選択肢	回答数	構成比
進めるべき	913	71%
必要ないと思う	77	6%
わからない	272	21%
未回答	23	2%
合計	1,285	100%

ICT関連産業を担う人材の育成

問8 【コンピュータサイエンスサマーキャンプ】市では、子どもたちのコンピュータサイエンスへの関心を高め、ICT(情報通信技術)関連産業を担う人材を育成するため、会津大学で民間団体が行う取組を支援しています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？(○は1つ)

「進めるべき」が71%と、約7割の方が積極的に進めるべきと回答しています。



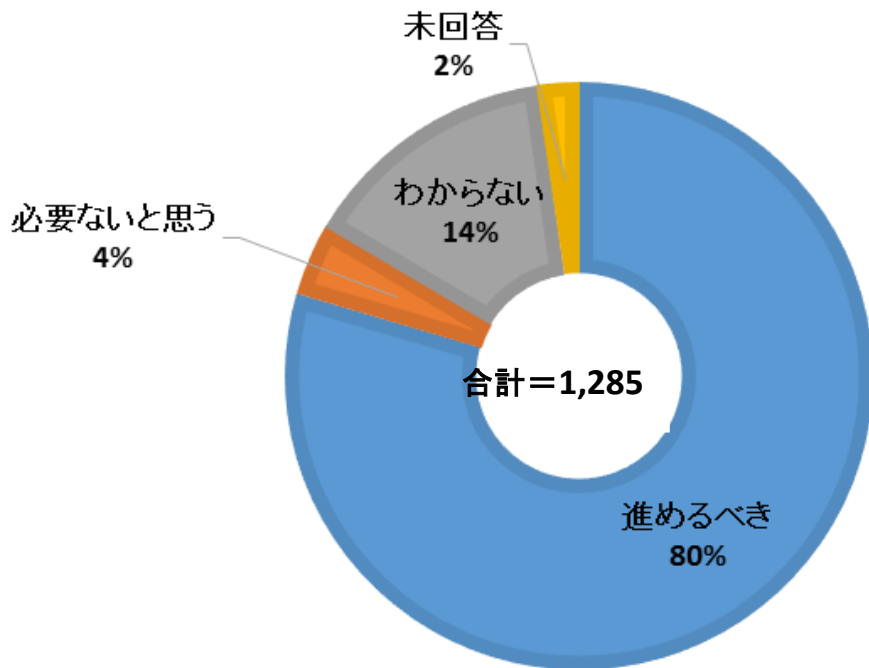
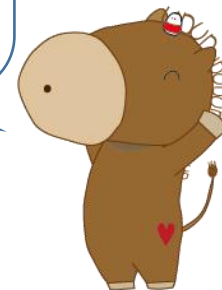
選択肢	回答数	構成比
進めるべき	918	71%
必要ないと思う	59	5%
わからない	286	22%
未回答	22	2%
合計	1,285	100%

会津若松をリードする人材の育成

豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について

問9 【未来人材育成塾】市では、将来の世界、日本、会津若松をリードする人材の育成を図るため、世界、日本で活躍する各界第一人者の話を聞き、子どもたちが、将来の日本、地域の姿を考える機会を設けています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

「進めるべき」が80%と、
8割の方が積極的に
進めるべきだと
感じています。



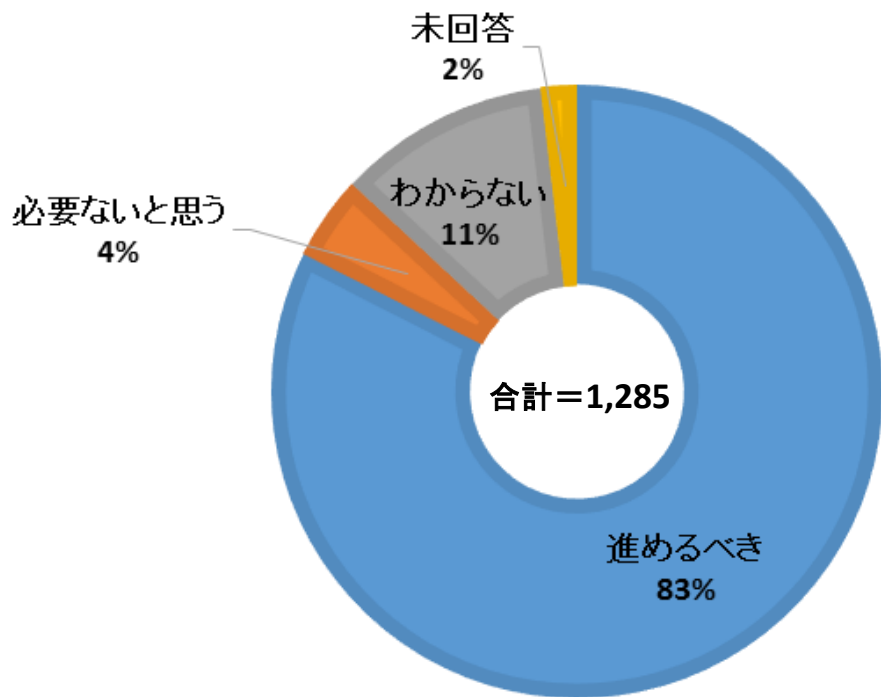
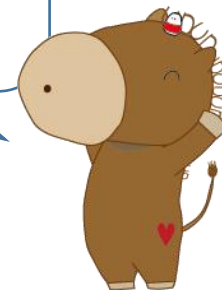
選択肢	回答数	構成比
進めるべき	1,022	80%
必要ないと思う	51	4%
わからない	183	14%
未回答	29	2%
合計	1,285	100%

子どもの学力向上・郷土愛の醸成

豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について

問10 【あいづっこ人材育成プロジェクト】市では、「憧れ」「学び」「誇り」をキーワードに、子どもたちの学力の向上と故郷会津に誇りを持つ優れた人材の育成を進める取組を進めています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？（○は1つ）

「進めるべき」が83%と、8割以上の方が積極的に進めるべきと思っています。



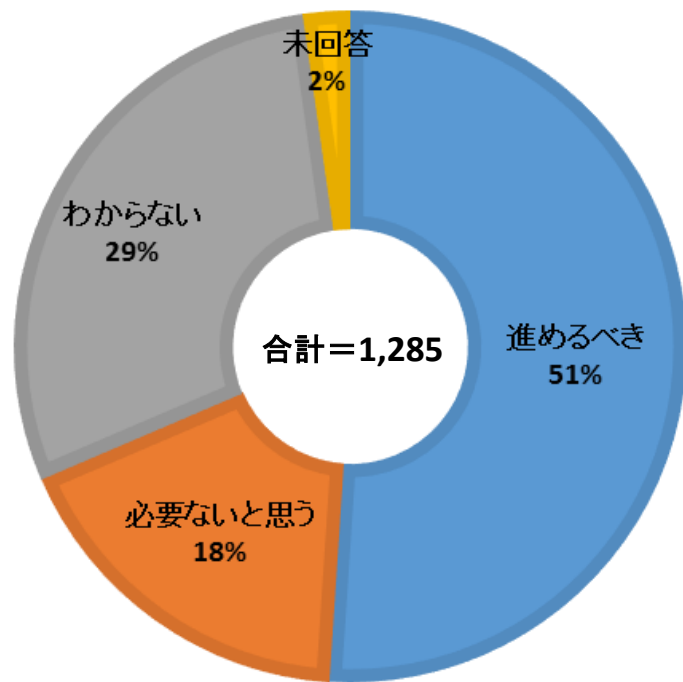
選択肢	回答数	構成比
進めるべき	1,060	83%
必要ないと思う	57	4%
わからない	144	11%
未回答	24	2%
合計	1,285	100%

命名権(ネーミングライツ)の活用

豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について

問11 他の地域では、スポーツ施設などの運営資金などを調達するため、施設の名称に企業の社名やブランド名などをつけることができるようにする取組(例えば、会津球場にスポンサーの社名をつけて「〇〇球場」とするなど)が行われています。こうした取組についてどう思いますか？
(〇は1つ)

「進めるべき」が51%、
「わからない」が29%でした。

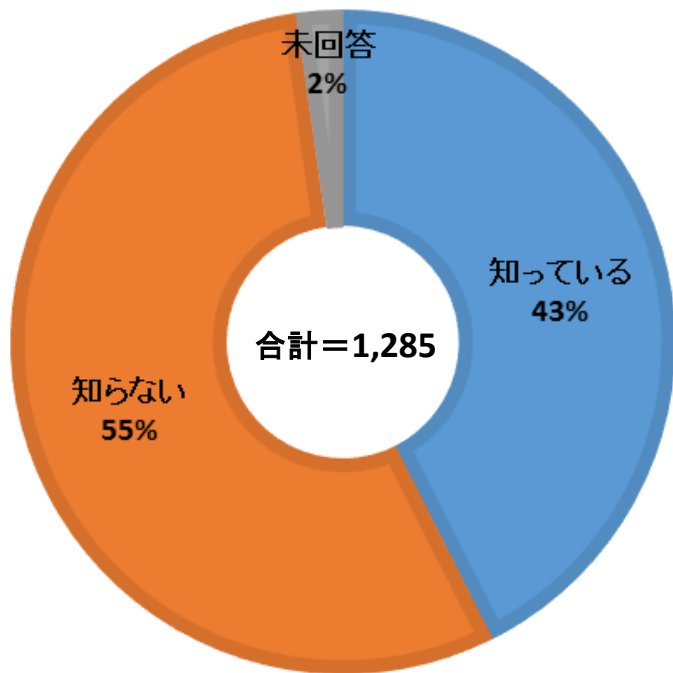


選択肢	回答数	構成比
進めるべき	656	51%
必要ないと思う	225	18%
わからない	375	29%
未回答	29	2%
合計	1,285	100%

まちなかアートプロジェクト

豊かな心と個性を育むまちづくりの取組について

問12 【あいづまちなかアートプロジェクト】市では、まちなかの蔵や歴史的な建物などで、市が収蔵している美術作品や「漆」などの芸術作品を展示し、市民の皆様や本市を訪れる方に見ていただく取組を行っています。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）



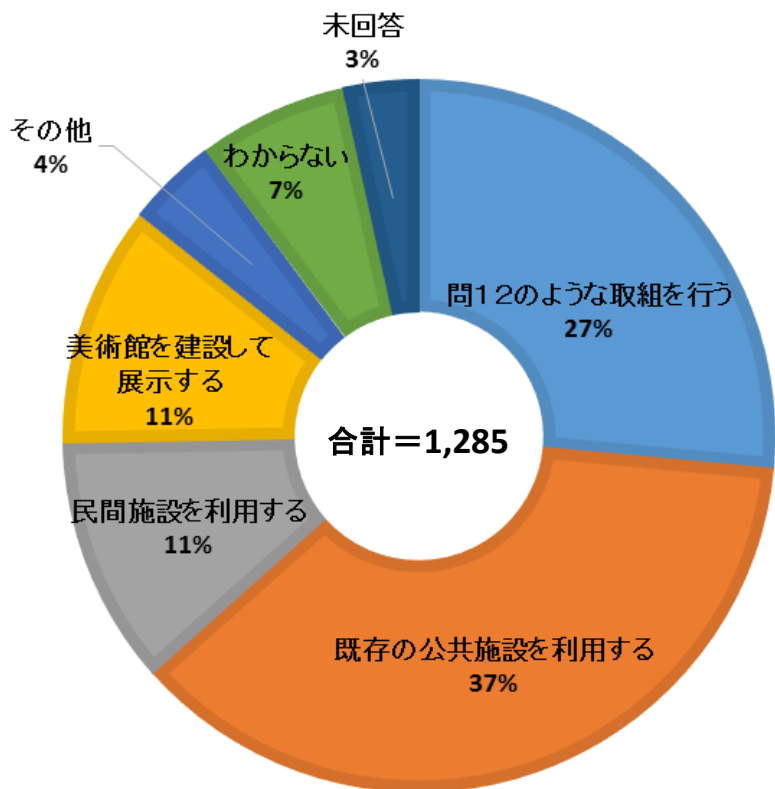
「知らない」が55%、
「知っている」が43%
となり、取組自体を
知らない方が半数以上
という結果になりました。



選択肢	回答数	構成比
知っている	547	43%
知らない	709	55%
未回答	29	2%
合計	1,285	100%

芸術作品に親しむためには

問13 美術品や芸術作品を広く皆さんに見ていただくためには、どのような方法が最もよいと思いますか？(○は1つ)



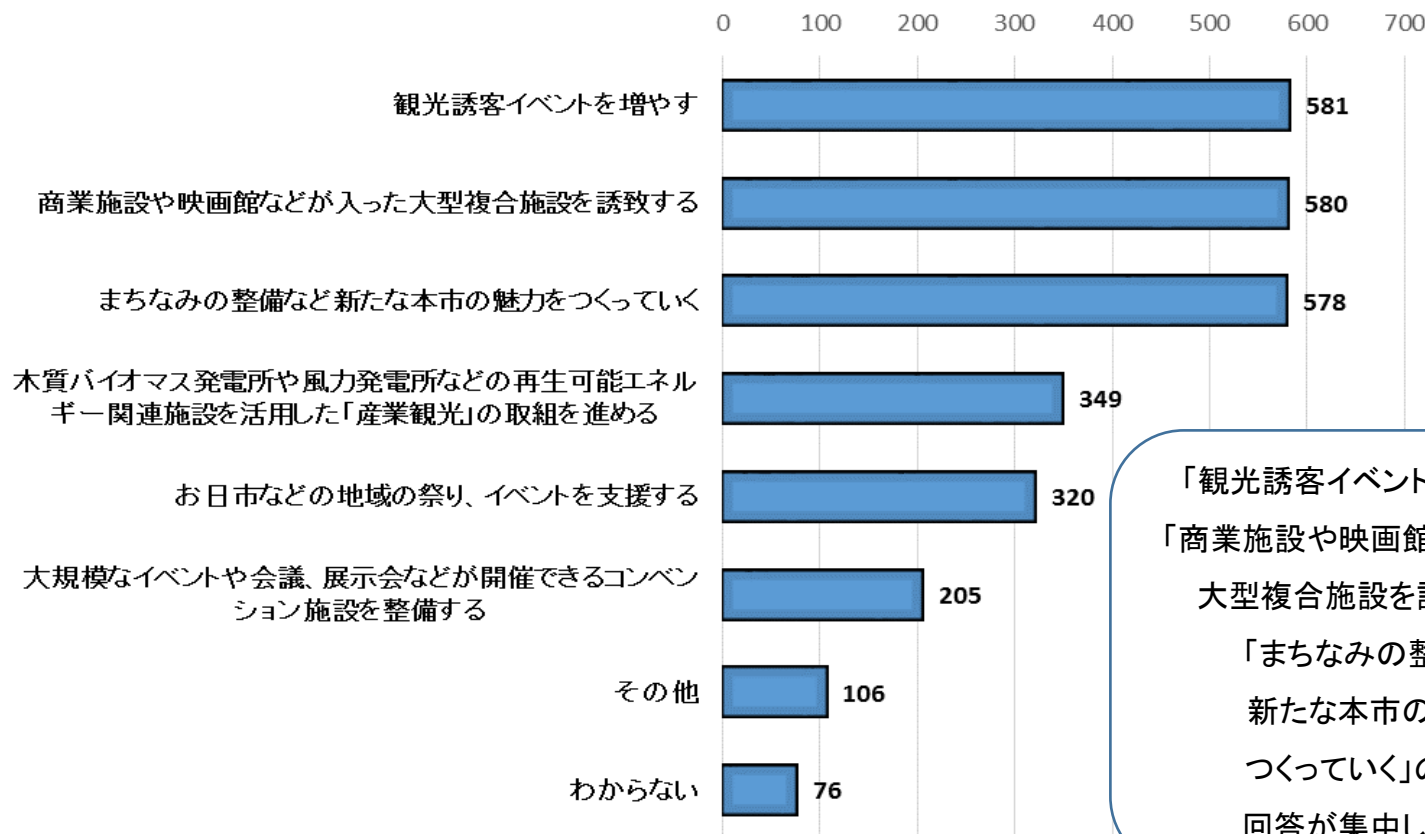
「既存施設を利用する方法が良い」という回答が全体の4分の3を占める結果でした。



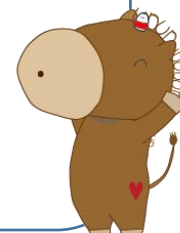
選択肢	回答数	構成比
問12のような取組を行う	340	27%
既存の公共施設を利用する	475	37%
民間施設を利用する	145	11%
美術館を建設し展示する	141	11%
その他	53	4%
わからない	87	7%
未回答	44	3%
合計	1,285	100%

地域活性化のために必要なこと

問14 多くの方々に本市を訪れて(観光、企業交流人口の増加)いただき、また市民同士の交流を促進し、地域を活性化するためにはどのような方法が良いと思いますか？(〇は3つまで)

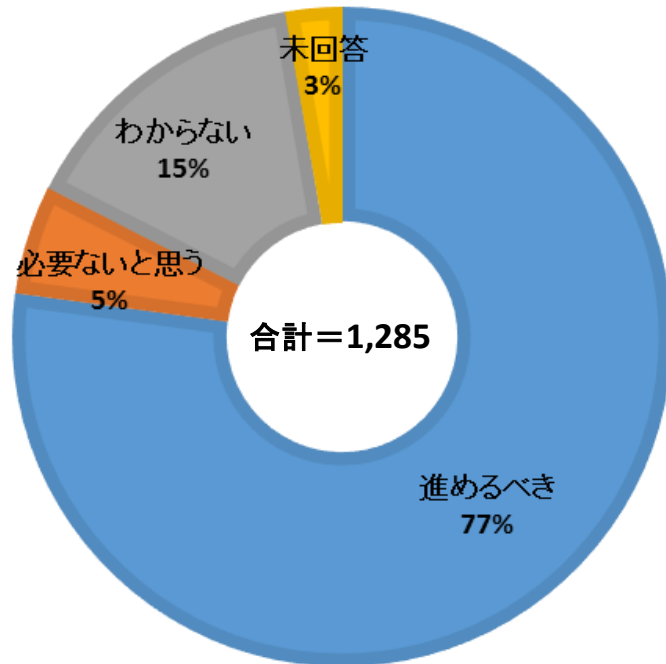


「観光誘客イベントを増やす」、
「商業施設や映画館などが入った
大型複合施設を誘致する」、
「まちなみの整備など
新たな本市の魅力をつ
くっていく」の3つに
回答が集中しました。

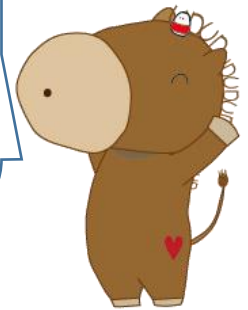


工業団地の造成

問16 市では、河東工業団地を造成し、企業立地協定により、株式会社羅羅屋(ららや・ランドセル等の製造)会津若松工場や株式会社グリーン発電会津(木質バイオマス発電所)などが立地され、地元の方々が雇用されています。また、門田町徳久地内に新たな工業団地の造成を予定しています。こうした取組を積極的に進めるべきだと思いますか？(○は1つ)



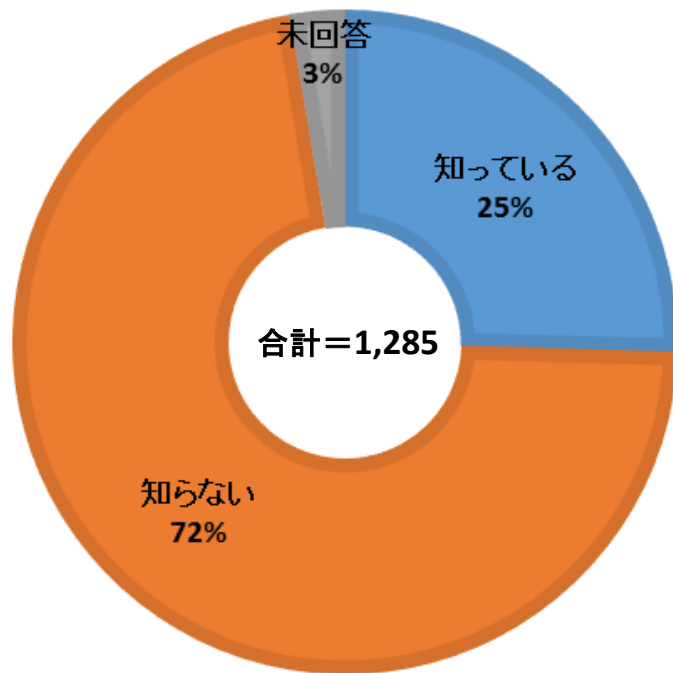
「進めるべき」が77%と約8割の方が、新たな工業団地の造成を積極的に進めるべきだと思っています。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	991	77%
必要ないと思う	69	5%
わからない	190	15%
未回答	35	3%
合計	1,285	100%

医工連携推進プロジェクトの認知度

問17 【会津若松医工連携推進プロジェクト】会津地域には、医療機器・医療品大手メーカー、IT企業、大学等が集積しており、これらを活かし、医療分野において新たな産業の創出などに取り組んでいます。こうした取組を知っていますか？
(○は1つ)



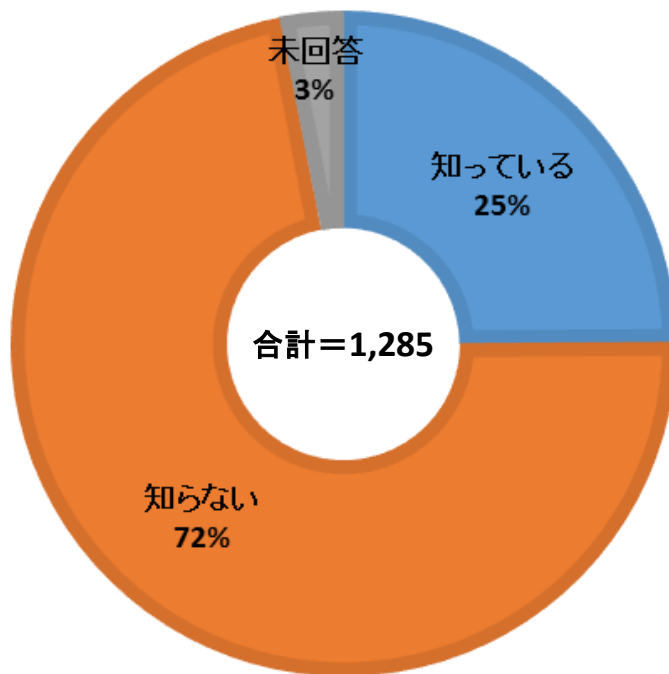
「知らない」が72%、
「知っている」が25%
となり、約7割の方が
取組を知らないという
結果になりました。



選択肢	回答数	構成比
知っている	327	25%
知らない	924	72%
未回答	34	3%
合計	1,285	100%

問18 【頑張るものづくり企業支援事業】本市には、地場産業をはじめ「ものづくり」企業が多くあります。市では、こうした企業間の連携を深めるとともに、販路を開拓する取組を行っています。こうした取組を知っていますか？（○は1つ）

問17と同様、約7割の方が取組を知らないという結果になりました。

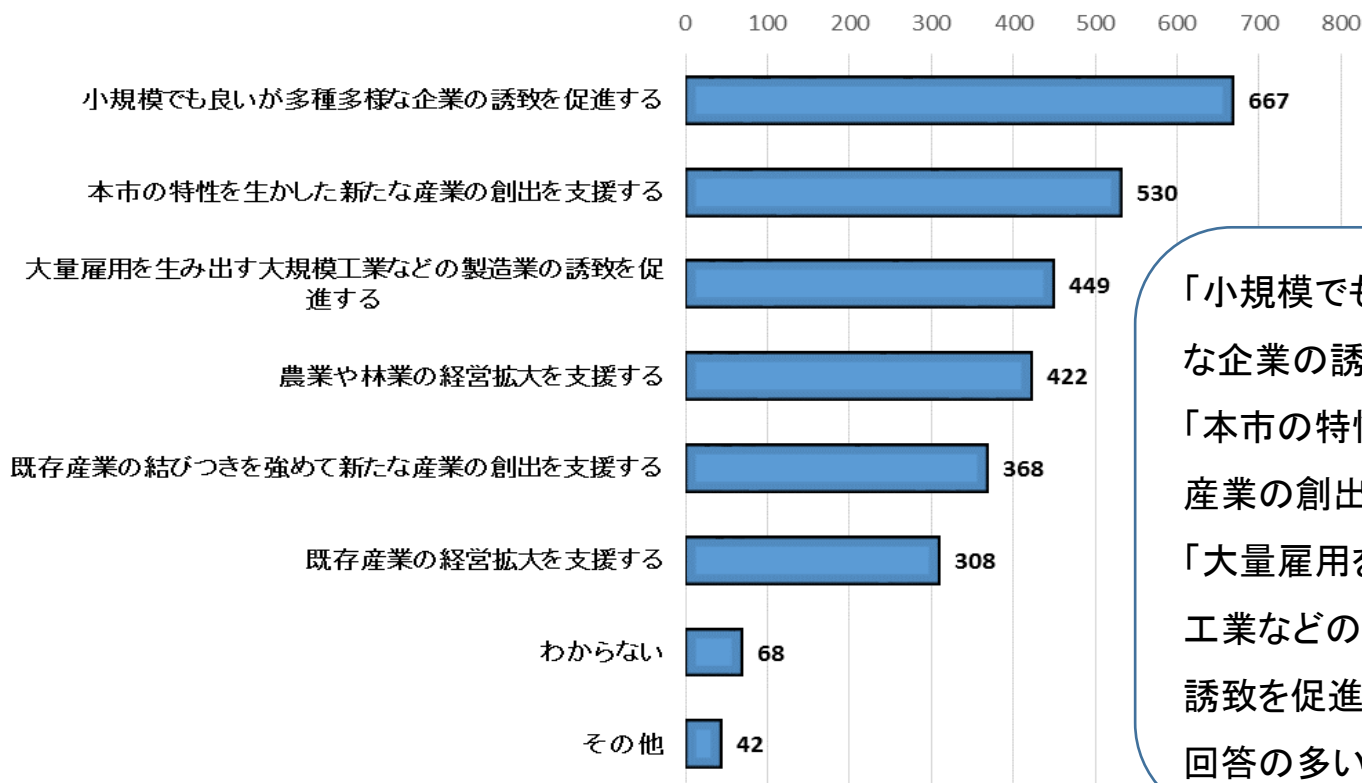


選択肢	回答数	構成比
知っている	320	25%
知らない	926	72%
未回答	39	3%
合計	1,285	100%

地域産業の活性化のために必要なこと

活力あるまちづくりの取組について

問20 職を求める方が、希望する職業に就けるよう、地域産業を活性化する必要があります。そのためにはどのような取組が有効だと考えますか？（〇は3つまで）

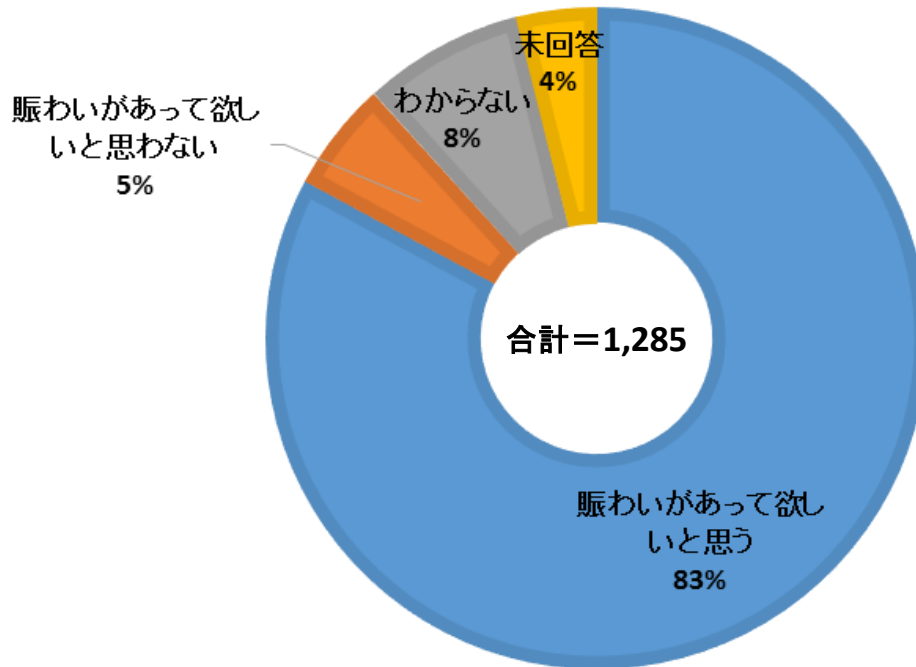


「小規模でも良いが多種多様な企業の誘致を促進する」、「本市の特性を生かした新たな産業の創出を支援する」、「大量雇用を生み出す大規模工業などの製造業の誘致を促進する」が回答の多い取組でした。

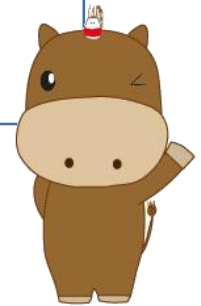


まちなかの賑わいの必要性

問21 市では、中心市街地の魅力を高め、活気や賑わいのある地域をつくっていくため、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、計画に基づく様々な取組を進めています。市街地中心部は活気、賑わいがあると思ってほしいと思いませんか？
(〇は1つ)



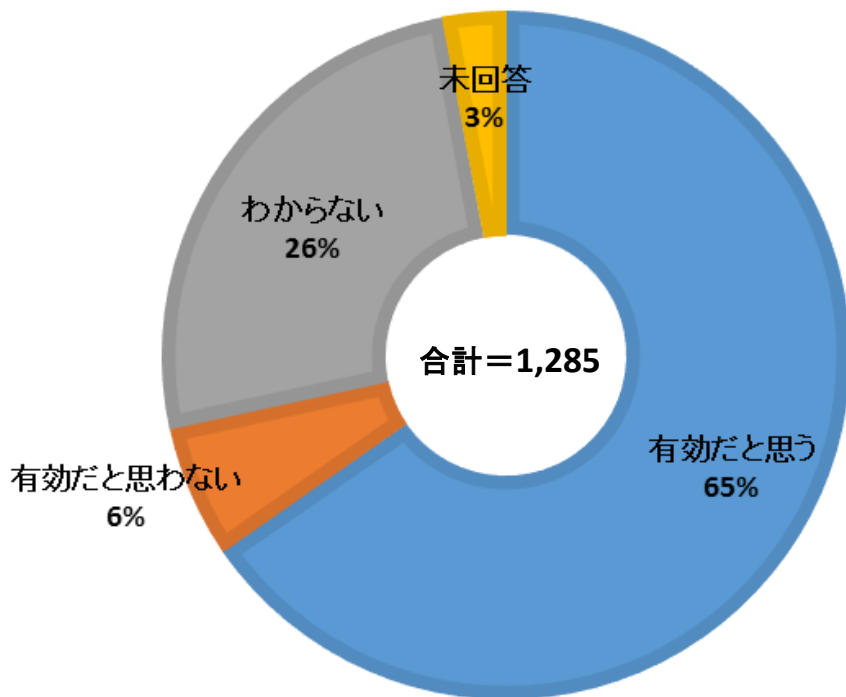
「賑わいがあると思う」
が83%と、8割以上の方が
市街地に賑わいがある
欲しいと思っています。



選択肢	回答数	構成比
賑わいがあると思う	1,065	83%
賑わいがないと思う	69	5%
わからない	101	8%
未回答	50	4%
合計	1,285	100%

問23 農業の後継者が不足する中で、他の地域では、これまでの農業者が行ってきた作業などをデータ化し、経験者のデータに基づいて農業を行う取組も進められています。こうした取組は本市の農業を維持していくために有効だと思いますか？（〇は1つ）

「有効だと思う」が65%と、約7割の方が有効な取組であると感じています。

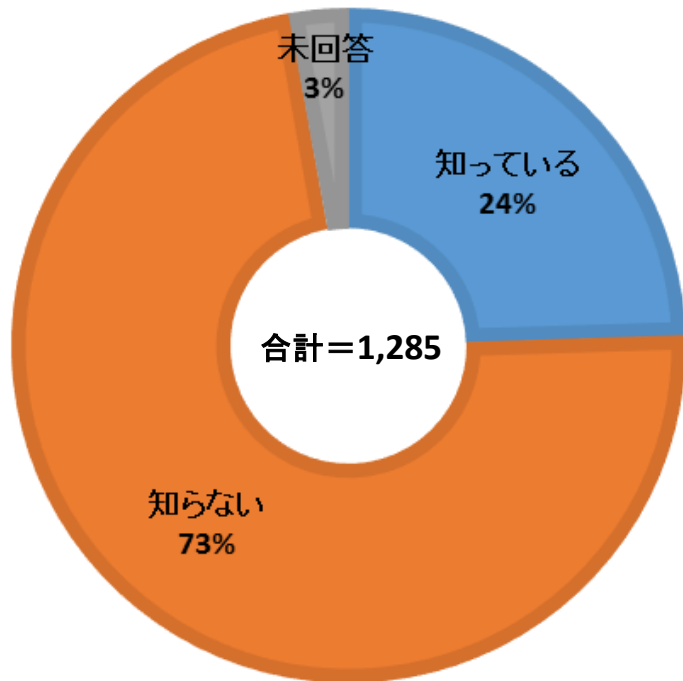


選択肢	回答数	構成比
有効だと思う	840	65%
有効だと思わない	80	6%
わからない	327	26%
未回答	38	3%
合計	1,285	100%

農業活性化の取組みの認知度

問24 市では、流通大手企業と協定を締結し、会津地域の協力関係を構築しながら、農産物をはじめとする会津産品の販売促進、大規模農場の経営や契約農家づくりに取り組んでいます。こうした取組を知っていますか？(○は1つ)

「知らない」が73%、
「知っている」が24%となり、
約7割の方が取組を
知らないという結果でした。

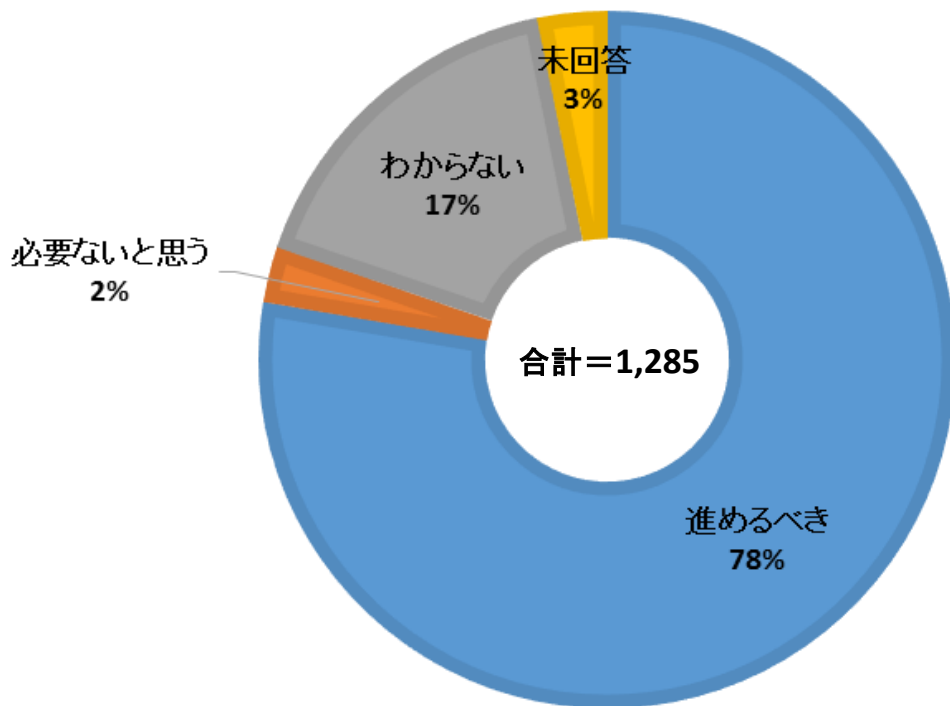


選択肢	回答数	構成比
知っている	315	24%
知らない	934	73%
未回答	36	3%
合計	1,285	100%

物産の販路拡大

問25 こうした流通大手の企業との連携による本市物産の販路拡大について今後も積極的に進めていくべきだと思いますか？(○は1つ)

「進めるべき」が78%と、約8割が積極的に進めていくべきと思っています。

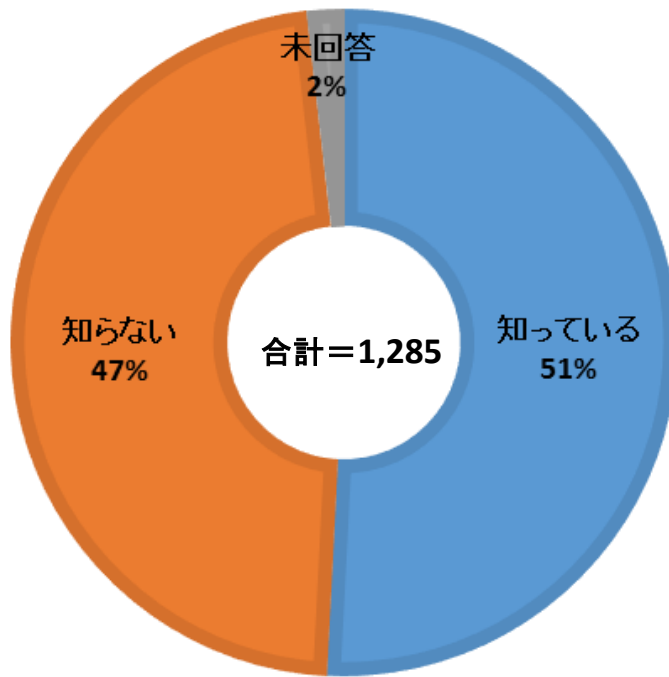


選択肢	回答数	構成比
進めるべき	998	78%
必要ないと思う	33	2%
わからない	213	17%
未回答	41	3%
合計	1,285	100%

「あいつ食の陣」の認知度

問26 【あいつ食の陣】本市の旬の食材を旬の時期に市内の飲食店などで味わっていただき、農産物の地産地消に結びつけるとともに、本市産農産物の知名度の向上、消費拡大を図るための取組を進めています。こうした取組を知っていますか？（〇は1つ）

「知っている」が51%、
「知らない」が47%と
約半数ずつ回答が
分かれました。



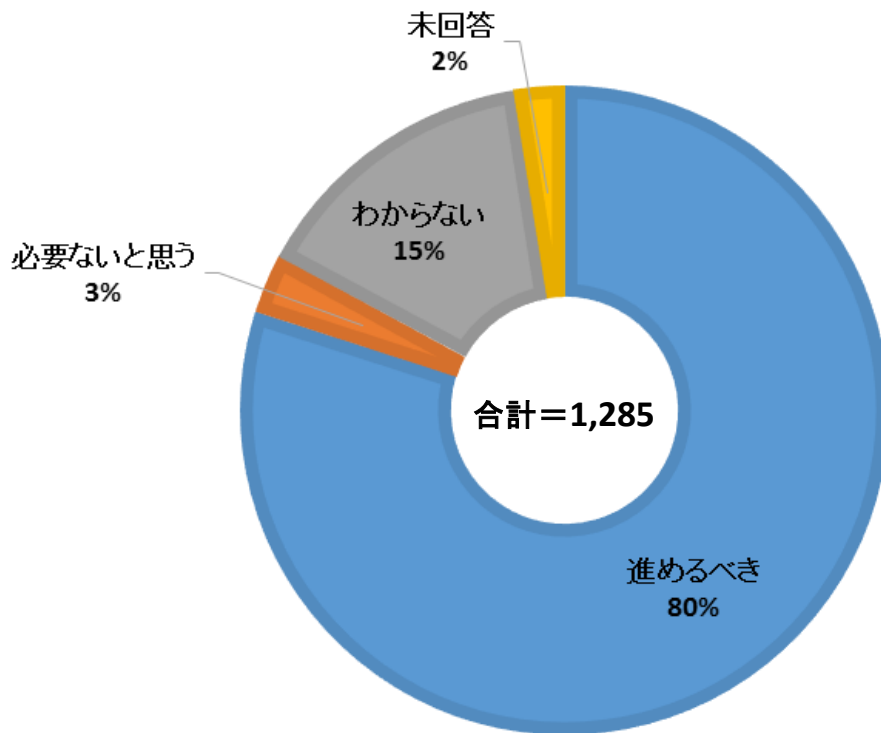
選択肢	回答数	構成比
知っている	653	51%
知らない	609	47%
未回答	23	2%
合計	1,285	100%

農産物の消費拡大の取組みの必要性

活力あるまちづくりの取組について

問27 こうした取組(問26)を積極的に進めていくべきだと思いますか？(○は1つ)

「進めるべき」が80%と、
8割の方が積極的に
進めていくべきだと
感じています。



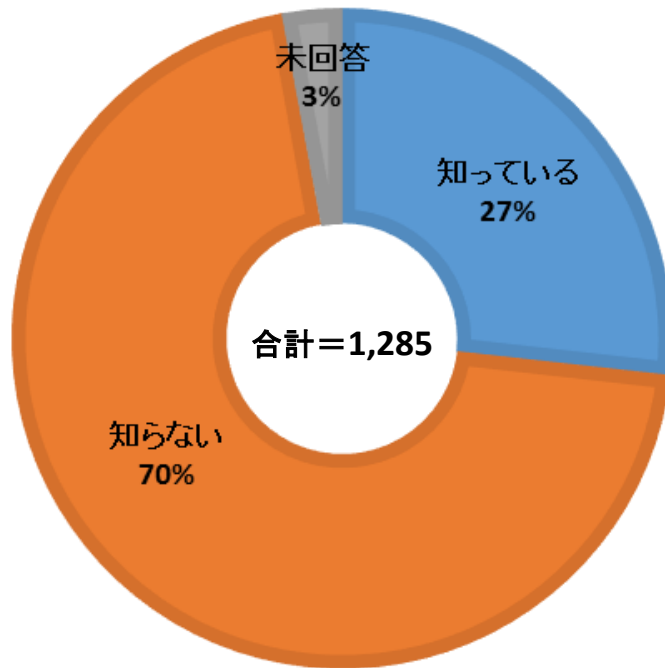
選択肢	回答数	構成比
進めるべき	1,027	80%
必要ないと思う	38	3%
わからない	188	15%
未回答	32	2%
合計	1,285	100%

再生可能エネルギーの取組みの認知度

活力あるまちづくりの取組について

問28 河東工業団地で稼働している木質バイオマス発電所では、これまで山林に残されてきた木材等をチップにして、それらを原料として発電(再生可能エネルギー)を行っています。市では、再生可能エネルギーによる発電の促進と、林業の活性化を目指し、木材を山から搬出する経費の一部を支援しています。こうした取組を知っていますか？(○は1つ)

「知らない」が70%と、7割の方が取組を知らないという結果でした。



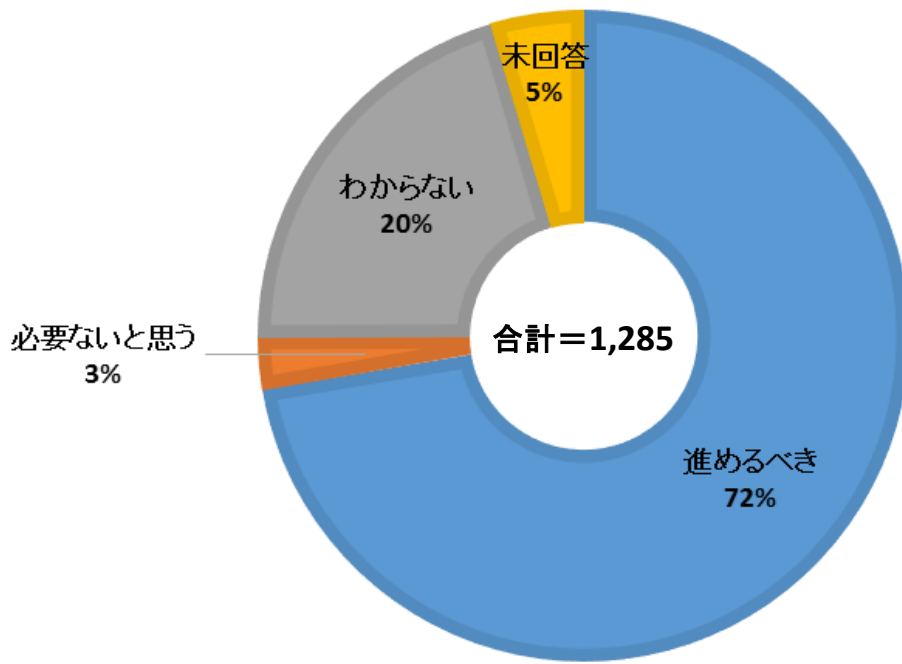
選択肢	回答数	構成比
知っている	344	27%
知らない	904	70%
未回答	37	3%
合計	1,285	100%

再生可能エネルギーの取組みの必要性

活力あるまちづくりの取組について

問29 こうした取組(問28)を積極的に進めていくべきだと思いますか？(○は1つ)

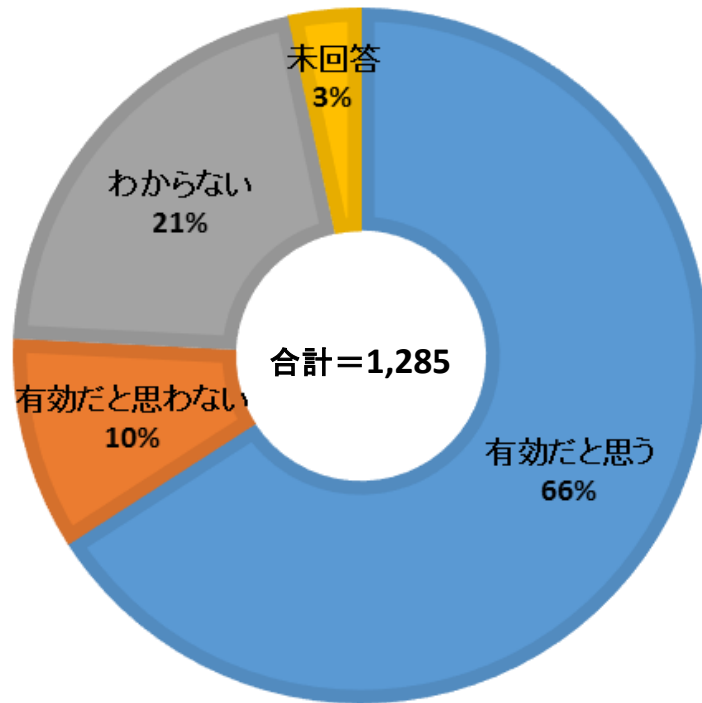
進めるべき」が72%と、
7割以上の方が積極的に
支援を進めるべきと
考えています。



選択肢	回答数	構成比
進めるべき	930	72%
必要ないと思う	33	3%
わからない	263	20%
未回答	59	5%
合計	1,285	100%

電気自動車の配備

問31 市では、環境に配慮するとともに、災害時の非常用電源(電気自動車の蓄電池に蓄えられる電力を災害時には建物の電源として利用)として利用するため、公用車として電気自動車の配置も行っています。こうした取組は環境保全や災害時に有効だと思いますか？(○は1つ)



「有効だと思う」が66%と、約7割の方が有効な取組だと感じています。

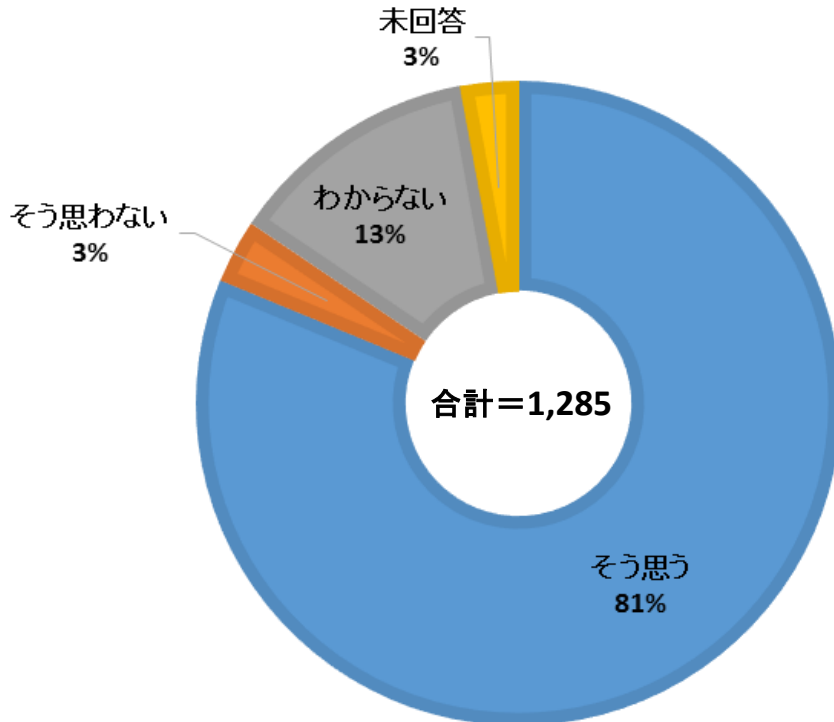
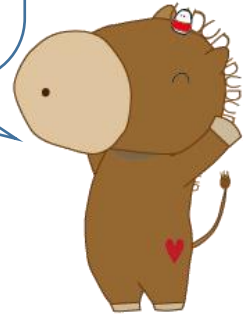


選択肢	回答数	構成比
有効だと思う	847	66%
有効だと思わない	127	10%
わからない	268	21%
未回答	43	3%
合計	1,285	100%

自然エネルギーの活用

問32 市では、市内のエネルギー消費量に占める水力発電や風力発電、太陽光発電、木質バイオマス発電などの再生可能エネルギーの供給量が41%(平成22年度・県内平均約21%)を占めています。環境への配慮とエネルギーの地産地消を目指し、平成35年度にはその割合を60%にする目標を掲げています。こうした再生可能エネルギー(自然エネルギーともいいます。)による電力の供給を増やしていくべきだと思いますか?(○は1つ)

「そう思う」が81%と、8割が再生可能エネルギーによる電力の供給を増やしていくべきと思っていました。

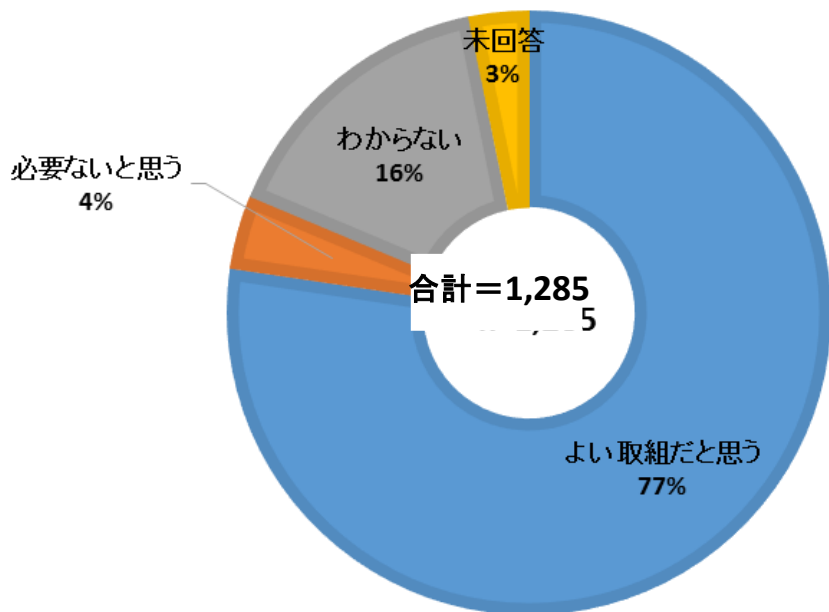
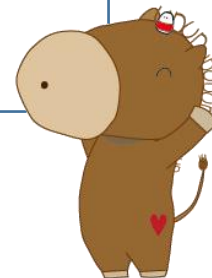


選択肢	回答数	構成比
そう思う	1,044	81%
そう思わない	41	3%
わからない	163	13%
未回答	37	3%
合計	1,285	100%

スマートメーターの普及拡大

問33 今後、東北電力など電力事業者が、現在の電力メーターを順次、スマートメーター（電力をデジタルで計測して、通信機能により計測値を送信するメーター）に交換することが発表されました。このメーターにより家庭内の電力消費量などが瞬時にわかるとともに、地域内の電力の供給を調整することにも役立ちます。また家庭内の電力使用量の抑制や高齢者世帯などの見守りなどのサービスを行うことも可能となります。こうしたサービスを行政や民間事業者が行っていくことをどのように思いますか？（〇は1つ）

「よい取組だと思う」が77%と、約8割の方がスマートメーターによるサービス提供の取組を評価しています。

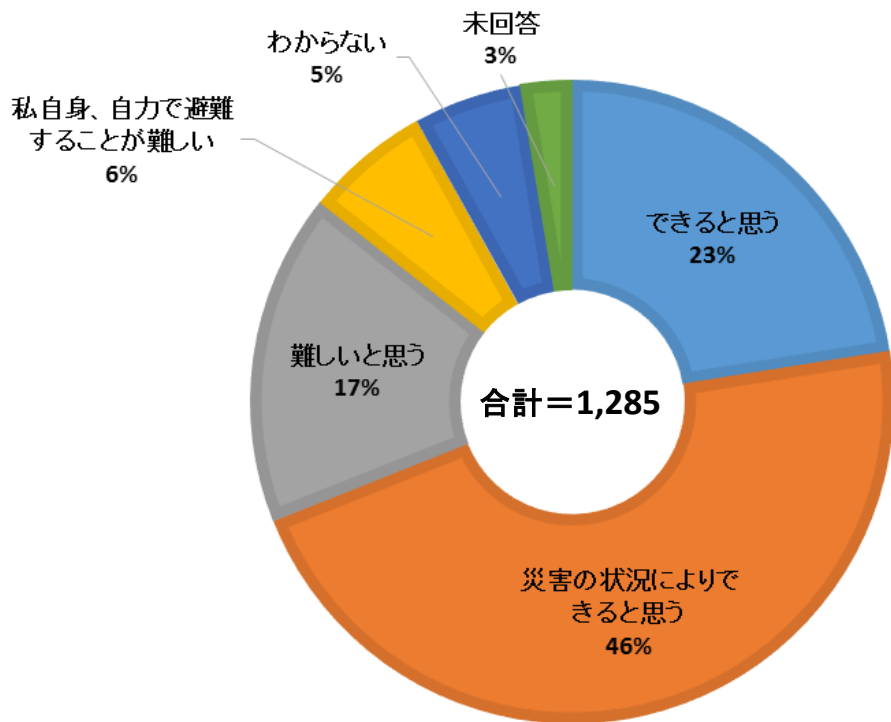
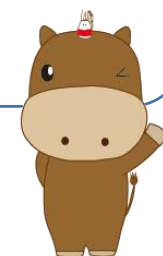


選択肢	回答数	構成比
よい取組だと思う	994	77%
必要ないと思う	51	4%
わからない	199	16%
未回答	41	3%
合計	1,285	100%

災害時の助け合い

問34 市では、「地域防災計画」と災害時対応のマニュアルを策定し、今後、地域の皆様にも説明していく考えです。特に災害時には多くの方々の協力やお手伝いが必要とされます。災害時に自力で避難できない方が自宅や職場の近くにいる場合、事前にそうした方々の情報があれば、避難のお手伝いができますか？（○は1つ）

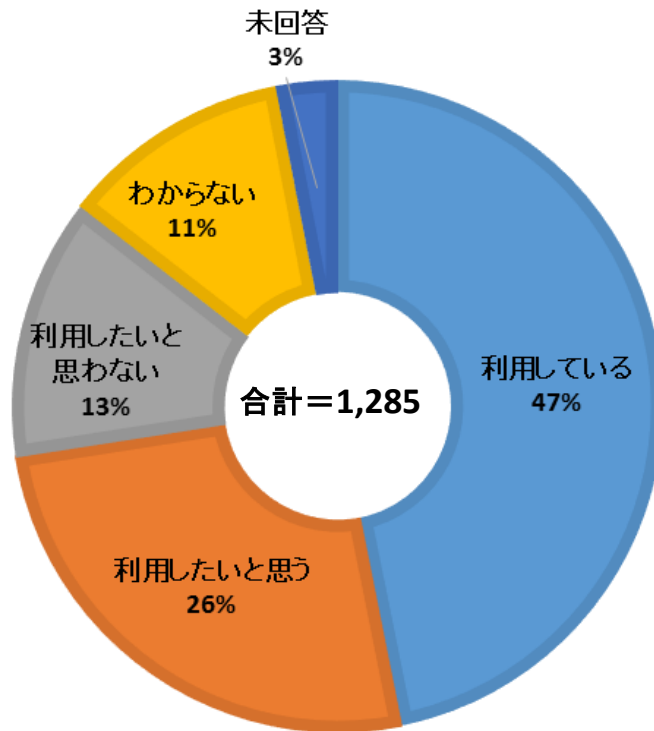
「災害の状況により出来ると思う」が46%、「できると思う」が23%と、約7割の方が避難の手伝い出来ると回答しました。



選択肢	回答数	構成比
できると思う	289	23%
災害の状況によりできると思う	597	46%
難しいと思う	215	17%
私自身、自力で避難することが難しい	81	6%
わからない	70	5%
未回答	33	3%
合計	1,285	100%

インターネットの利用状況

問35 様々な情報の収集や発信、他の人との連絡にインターネット(携帯電話を含む。)を利用して
いますか?また利用したいと思いますか?
(〇は1つ)



「利用している」が47%と、
半数の方が利用しています。
また、「利用したいと思う」と
回答した方は約3割でした。

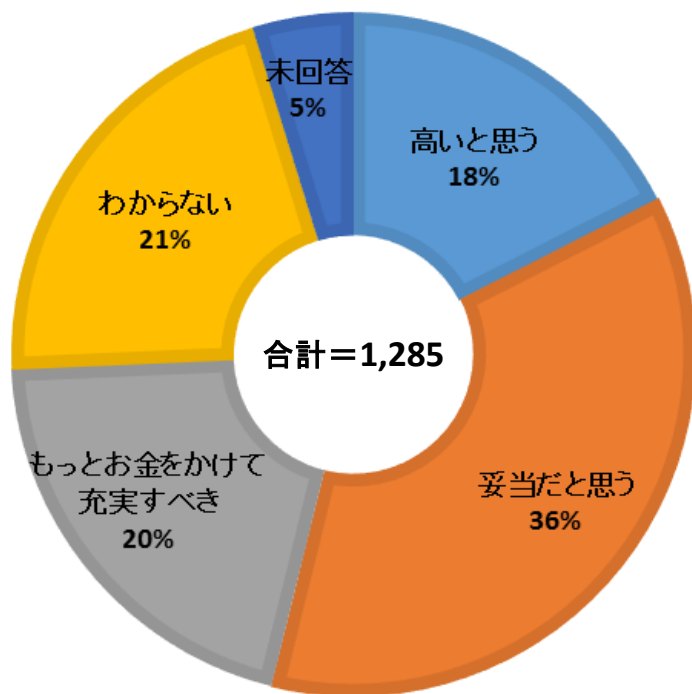


選択肢	回答数	構成比
利用している	602	47%
利用したいと思う	330	26%
利用したいと思わない	167	13%
わからない	147	11%
未回答	39	3%
合計	1,285	100%

除雪・排雪の費用

問36 市では、除雪、排雪の実施にあたって平成20～24年度において年間平均約5億6,300万円、市民1人当たり換算すると年間約4,600円の費用をかけています。この金額についてどう思いますか？(○は1つ)

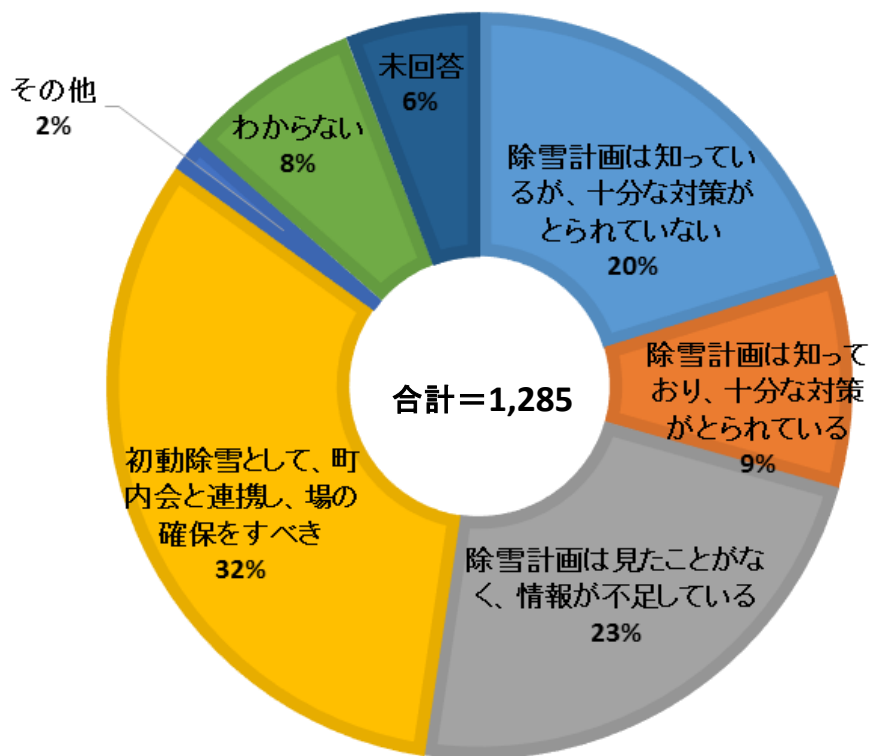
「妥当だと思う」が36%、
「わからない」が21%、
「もっとお金をかけて充実すべき」が20%
の順になりました。



選択肢	回答数	構成比
高いと思う	225	18%
妥当だと思う	467	36%
もっとお金をかけて充実すべき	263	20%
わからない	269	21%
未回答	61	5%
合計	1,285	100%

除雪対策の評価

問37 あなたは、市の除雪計画(対策)をどう思いますか？(○は1つ)



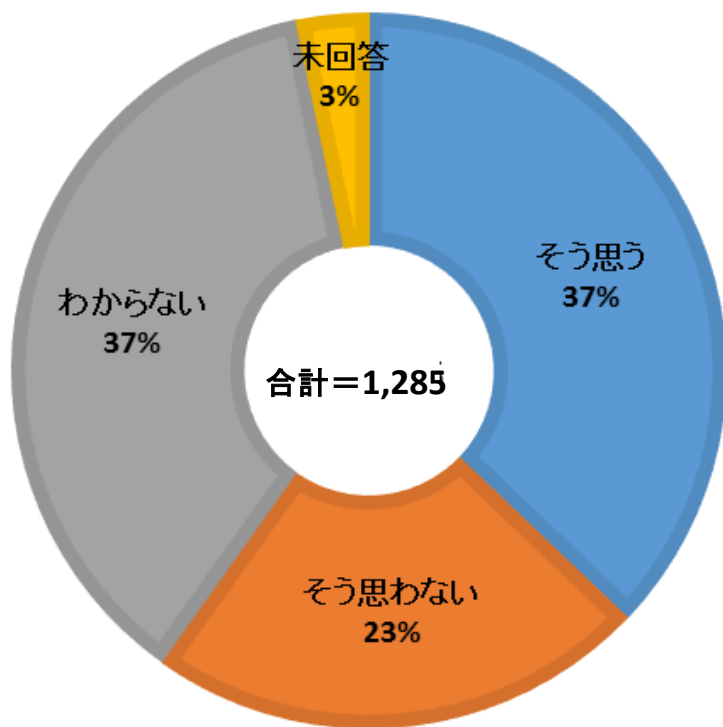
「初動除雪として、町内会と連携し、寄せ雪の場の確保や個人宅の塀際に邪魔にならないよう、事前に協議し、場を確保すべき」が32%で、一番多い回答でした。



選択肢%	回答数	構成比
十分な対策がとられていない	260	20%
十分な対策がとられている	118	9%
情報が不足している	295	23%
町内会と連携、場の確保が必要	418	32%
その他	20	2%
わからない	99	8%
未回答	75	6%
合計	1,285	100%

地域住民の関係性

問39 あなたの住む地域の皆さんは、困ったときに助け合える関係だと思えますか？(○は1つ)



「そう思う」が37%、
「わからない」が37%、
「そう思わない」が23%
という結果になりました。

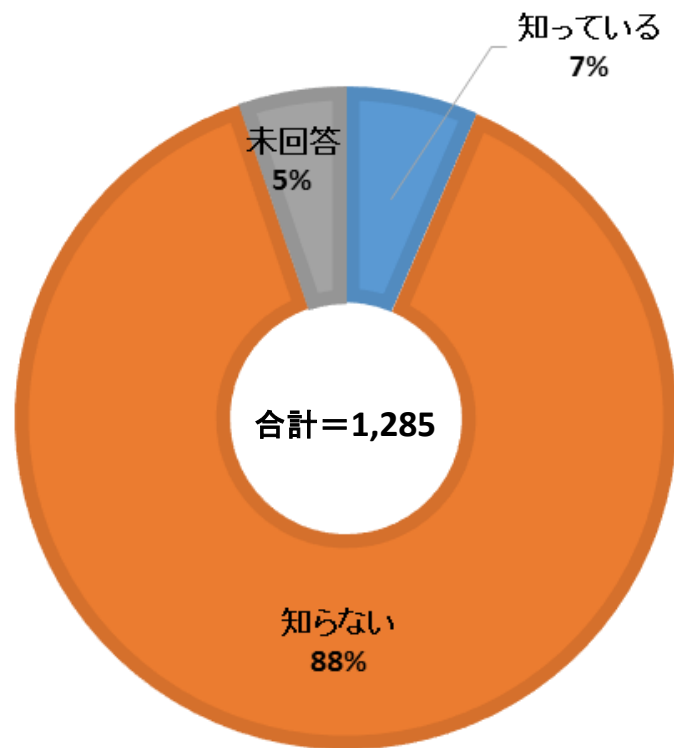


選択肢	回答数	構成比
そう思う	447	37%
そう思わない	292	23%
わからない	474	37%
未回答	42	3%
合計	1,285	100%

「市民協働推進指針」の認知度

問40 【市民協働推進指針】地域の方々や市民団体の皆様の様々な活動を支援するとともに、市と地域、市民団体の方々が連携して(「協働」により)地域の課題を解決していくため、その連携のあり方などを「指針」としてまとめました。この指針を知っていますか？(○は1つ)

「知らない」が88%と、約9割が「市民協働推進指針」を知らないという結果になりました。

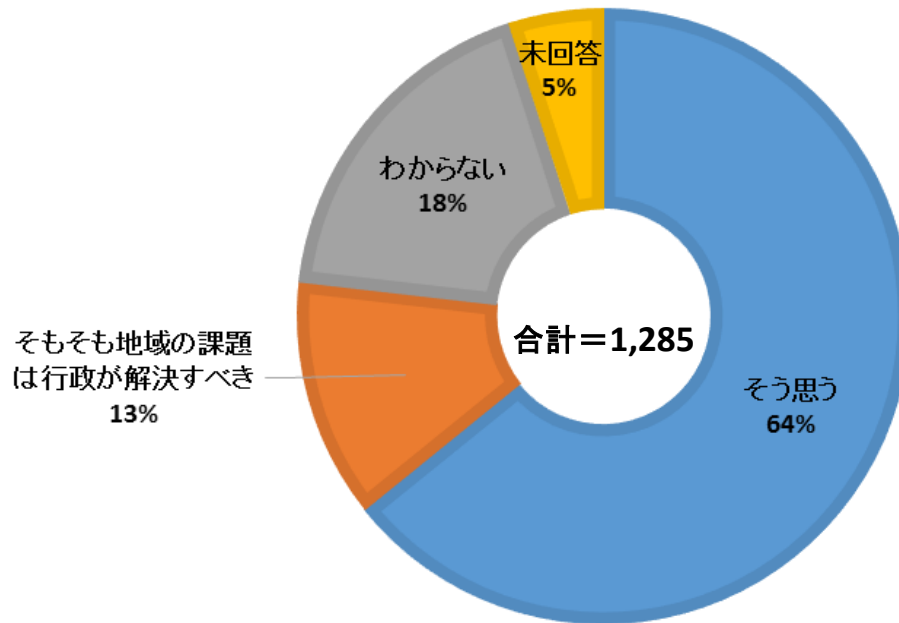


選択肢	回答数	構成比
知っている	83	7%
知らない	1,135	88%
未回答	67	5%
合計	1,285	100%

住民自らの活動の必要性

問42 【地域づくり委員会】市民の皆様からいただきご要望や地域の課題は多様化してきており、これまでの行政サービスのみでは、対応が難しいものも多くあります。こうしたことから、地域の皆様とともに解決策を見出していくため、河東地区や北会津地区では地域住民の方々による「地域づくり委員会」が設置され、身近な課題解決のための取組が行われています。こうした地域の皆様自らによる地域の課題解決に向けた活動を市は積極的に支援すべきだと思いますか？（○は1つ）

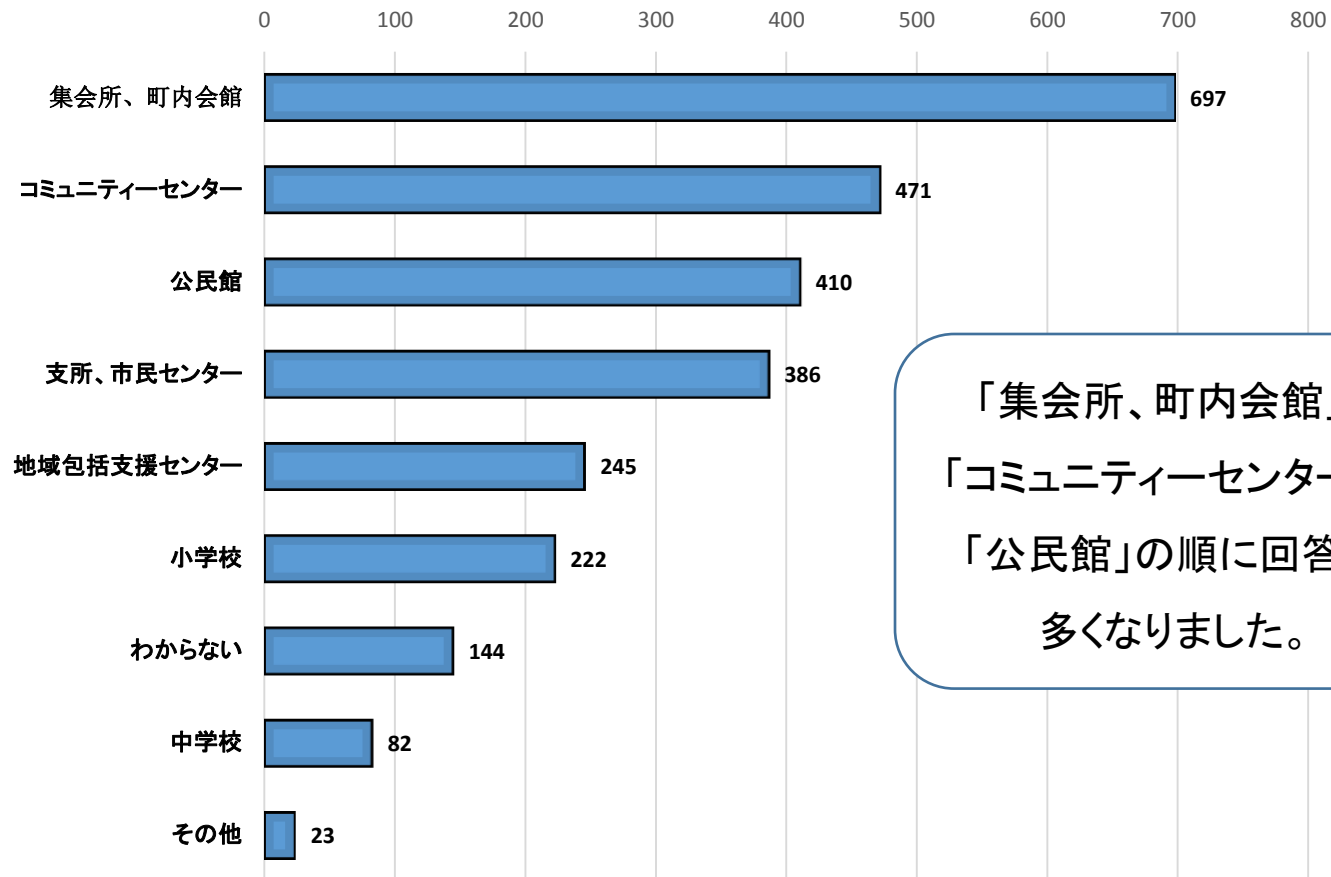
「そう思う」が64%と、6割の方が市が地域住民による活動を積極的に支援すべきと考えています。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	825	64%
地域の課題は行政が解決すべき	162	13%
わからない	234	18%
未回答	64	5%
合計	1,285	100%

地域の拠点となる施設

問43 「地域」の核(拠点)となる施設は、次のどの施設だと思いますか？(○は3つまで)



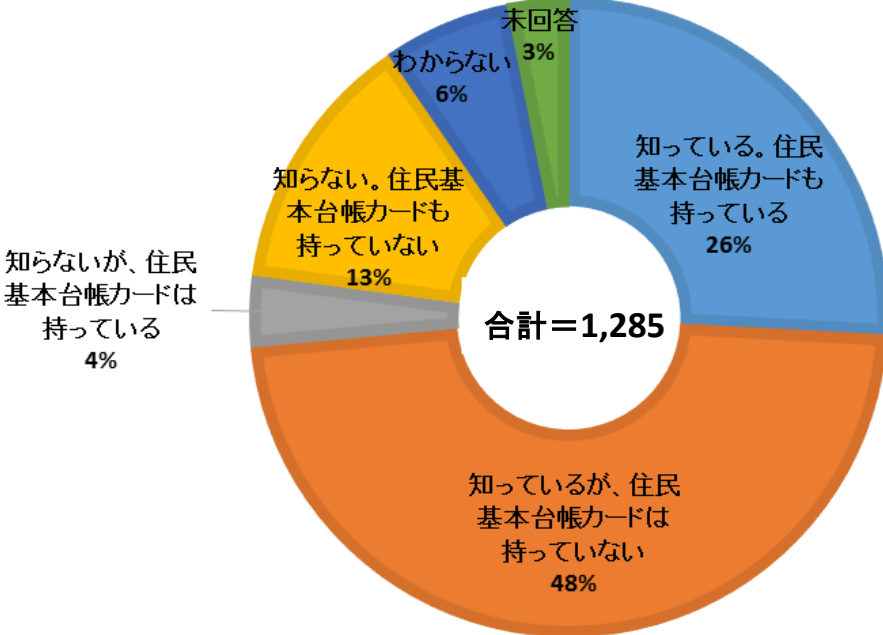
「集会所、町内会館」、
「コミュニティーセンター」、
「公民館」の順に回答が
多くなりました。



住民基本台帳カードの認知度・取得率

問44 市の住民基本台帳カードをお持ちの方は、全国のコンビニエンスストア(年末年始を除く午前6時30分～午後11時まで)で、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄本・抄本等を取得することができます。こうした取組を知っていますか？(○は1つ)

全体の約7割の方が住民基本台帳カードを知っている一方で、カードを持っている方は約3割にとどまっています。

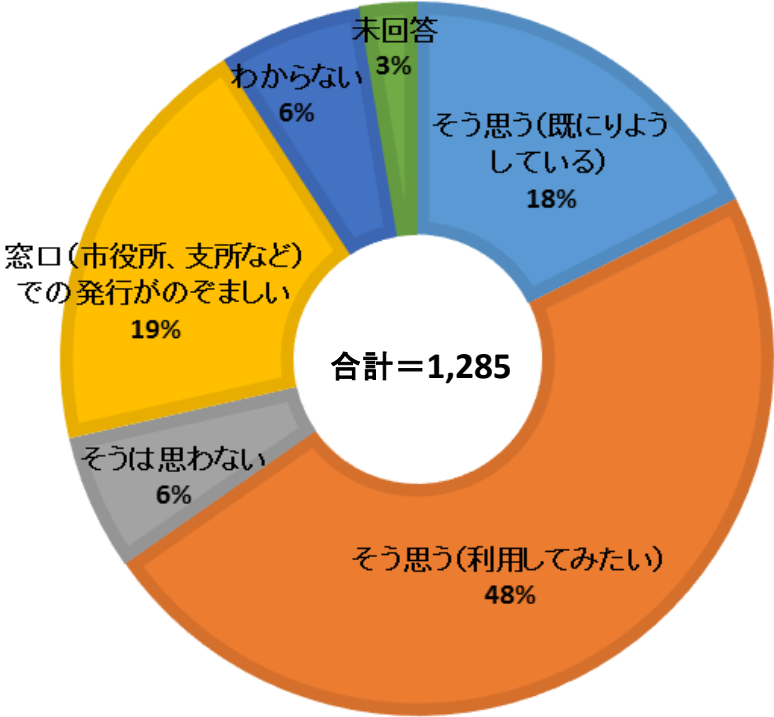
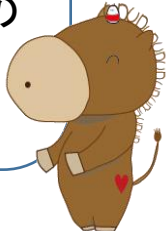


選択肢	回答数	構成比
知っている。カードも持っている	332	26%
知っている。カードは持っていない	613	48%
知らない。カードは持っている	46	4%
知らない。カードも持っていない	171	13%
わからない	83	6%
未回答	40	8%
合計	1,285	100%

コンビニ交付の利便性

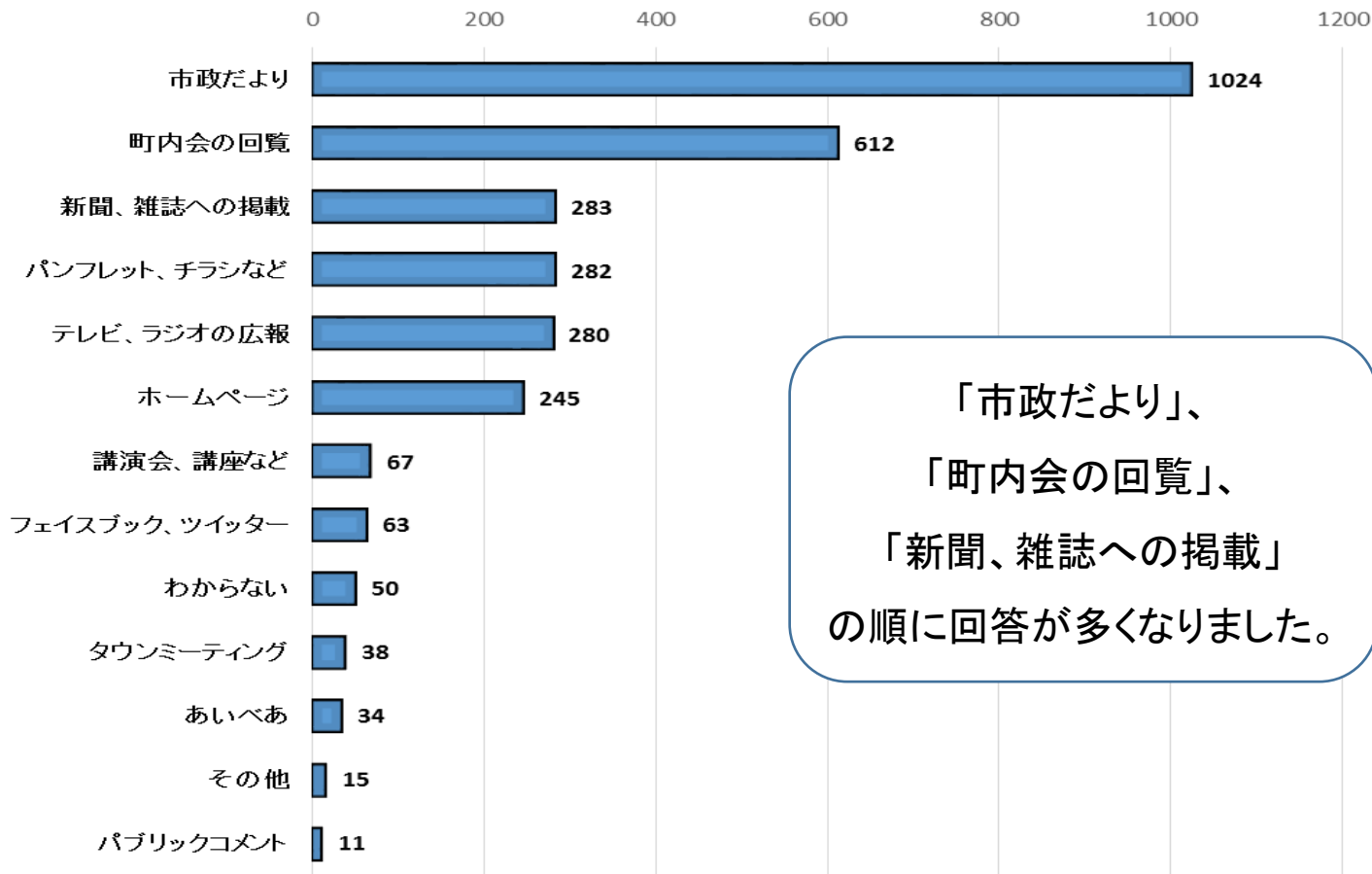
問45 様々な証明書などをコンビニエンスストアで受け取れるサービスは便利だと思いますか？
(〇は1つ)

「そう思う(利用してみたい)」が48%、「そう思う(既に利用している)」が18%と、約7割の方が便利だと感じています。



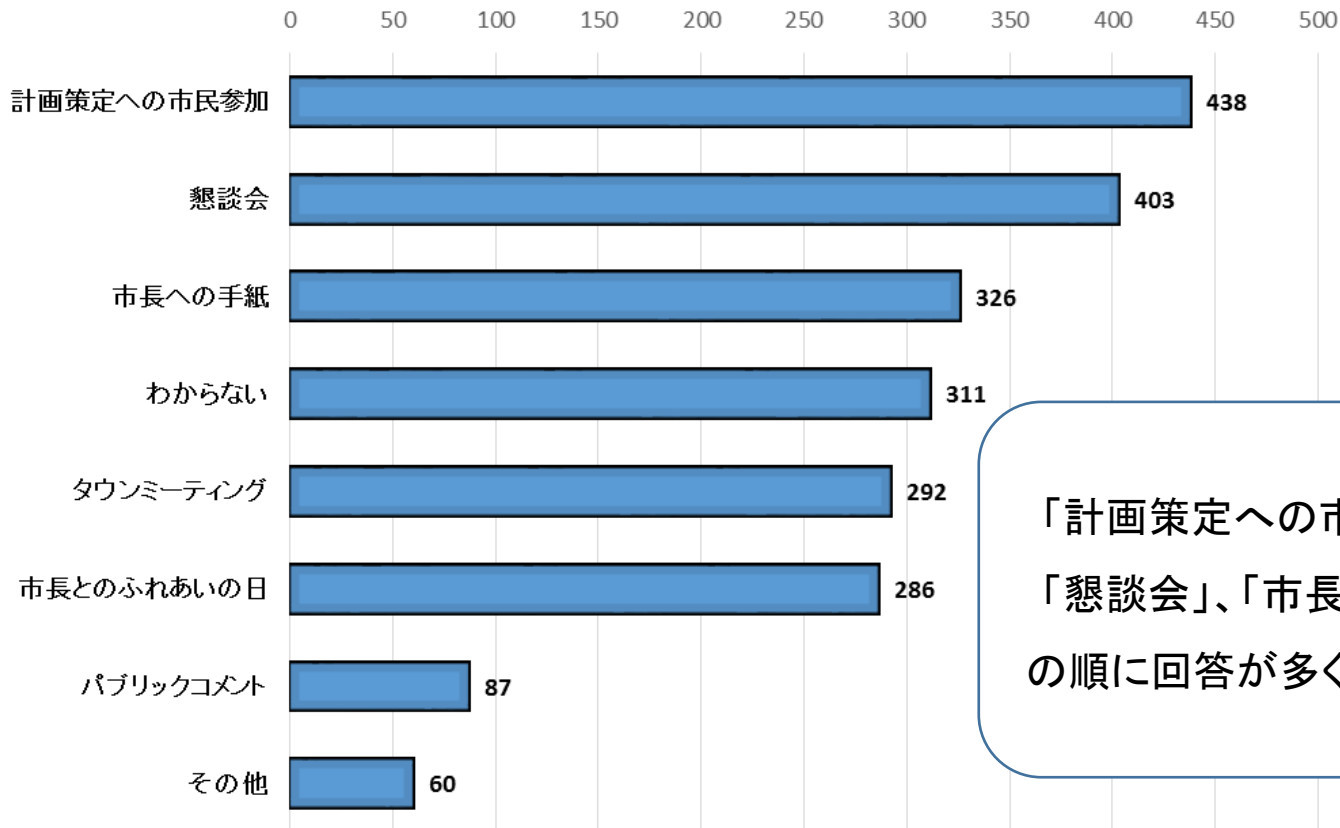
選択肢	回答数	構成比
そう思う(既に利用してる)	226	18%
そう思う(利用してみたい)	613	48%
そうは思わない	79	6%
窓口	250	19%
わからない	84	6%
未回答	33	3%
合計	1,285	100%

問46 市からの情報を受け取る手段として、充実させる必要があると思うものは何ですか？
(〇は3つまで)



市への要望・提案の手段の充実

問47 身近な課題、または地域の課題の解決に向けて市に要望、提案する手段として、あなたは何を充実させるべきだと思いますか？
(〇は3つまで)



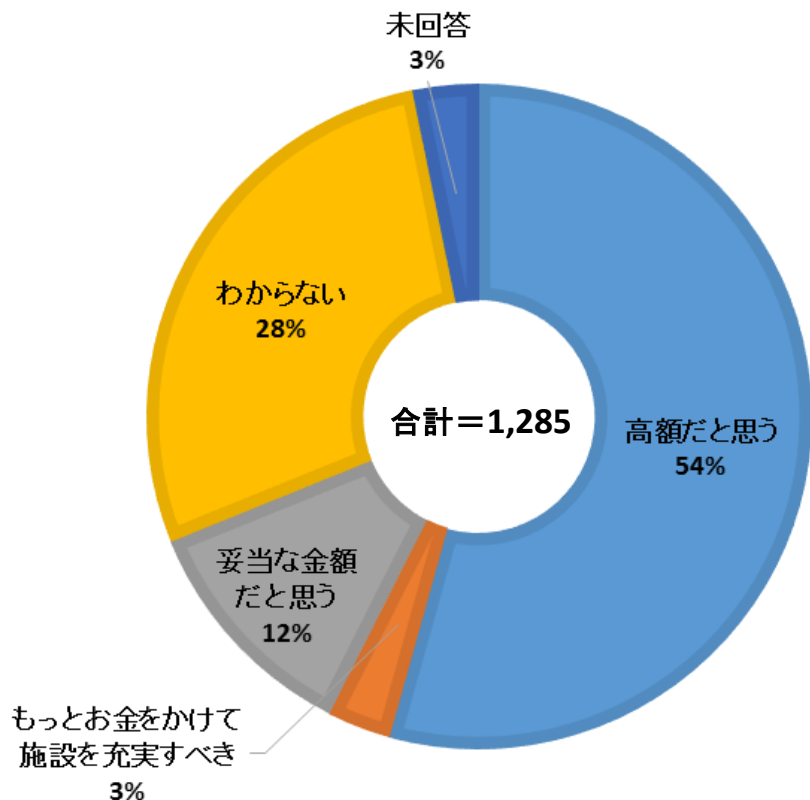
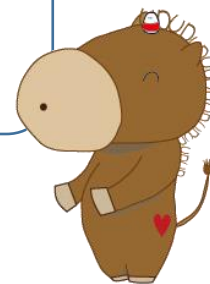
「計画策定への市民参加」、
「懇談会」、「市長への手紙」
の順に回答が多くなりました。



公共施設の維持管理費

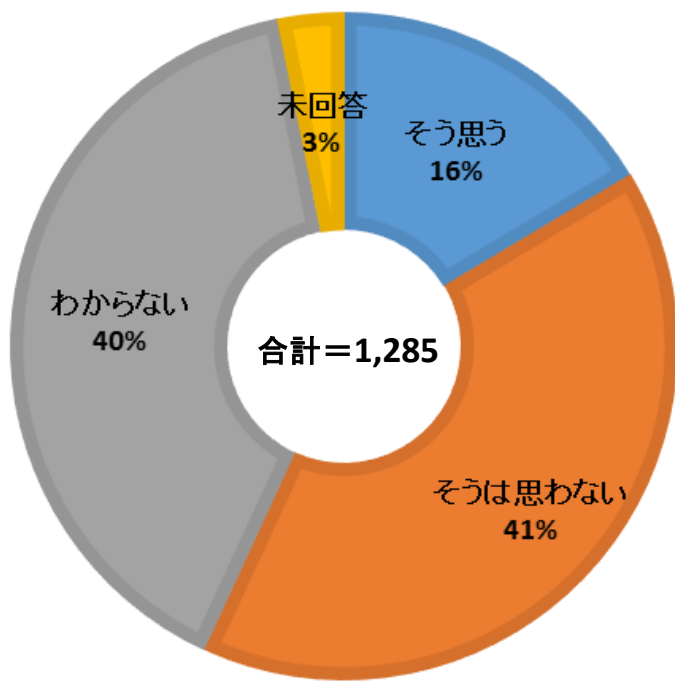
問49 市の公共施設の維持管理には、建物の減価償却費を含め、年間約56億7千4百万円(平成23年度決算額)という費用がかかっている実態にあり、市民1人当たりに換算すると約45,000円を負担していることとなります。この金額についてどう思いますか？(○は1つ)

「高額だと思う」が54%と、半数以上を占める結果になりました。



選択肢	回答数	構成比
高額だと思う	698	54%
もっとお金をかけて施設を充実すべき	40	3%
適切な金額だと思う	147	12%
わからない	359	28%
未回答	41	3%
合計	1,285	100%

問50 あなたは、市の公共施設が有効に活用されていると思いますか？（○は1つ）



「そう思う」が16%と、有効活用されていると思っている方が、2割未満という結果になりました。

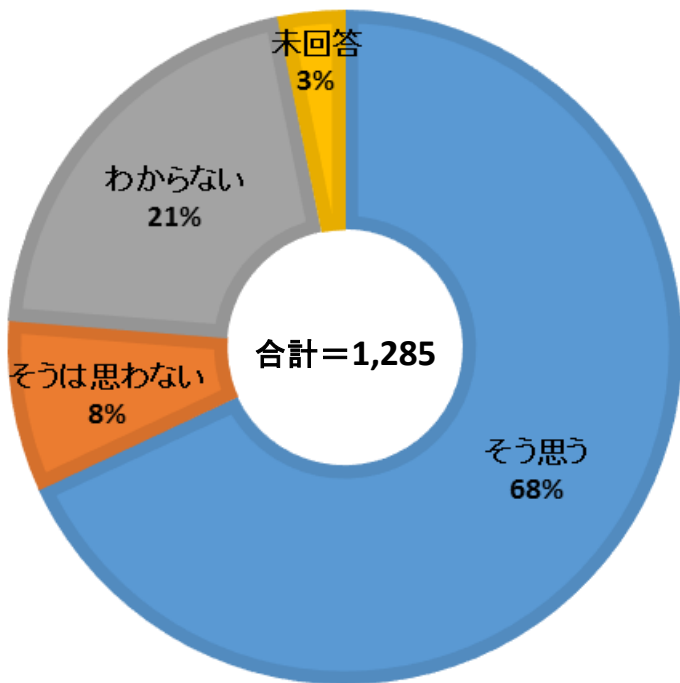


選択肢	回答数	構成比
そう思う	211	16%
そうは思わない	520	41%
わからない	513	40%
未回答	41	3%
合計	1,285	100%

公共施設の合理的な利用の促進

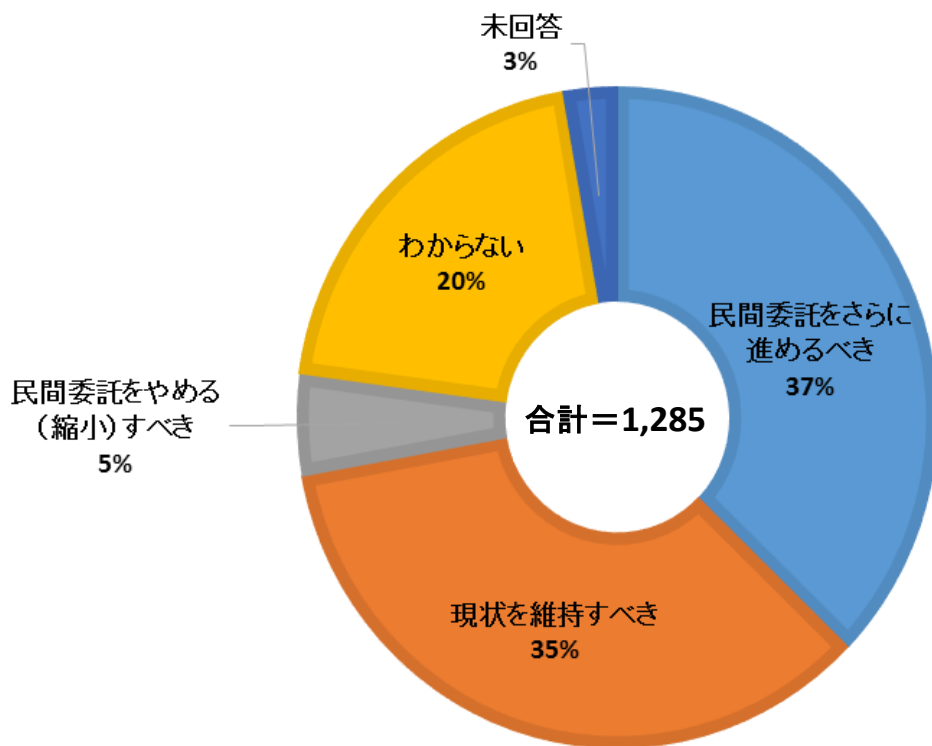
問51 今後、建替や修繕が必要な公共施設の増加が見込まれています。公共施設の配置や機能を検討し、複数の機能を持った集約した施設とするなど、合理的な利用を進めるべきだと思いますか？(○は1つ)

「そう思う」が68%と、約7割の方が合理的な利用を進めるべきと考えています。

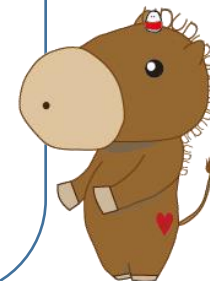


選択肢	回答数	構成比
そう思う	875	68%
そうは思わない	105	8%
わからない	264	21%
未回答	41	3%
合計	1,285	100%

問52 市では、市税等の財源を有効に活用する取組の一環として、市役所の仕事のアウトソーシング（民間委託等）を進め、学校給食の調理・配送、ゴミ収集、図書館の貸出業務などの民間委託を行っています。これらの取組に対してどのように考えますか？（○は1つ）



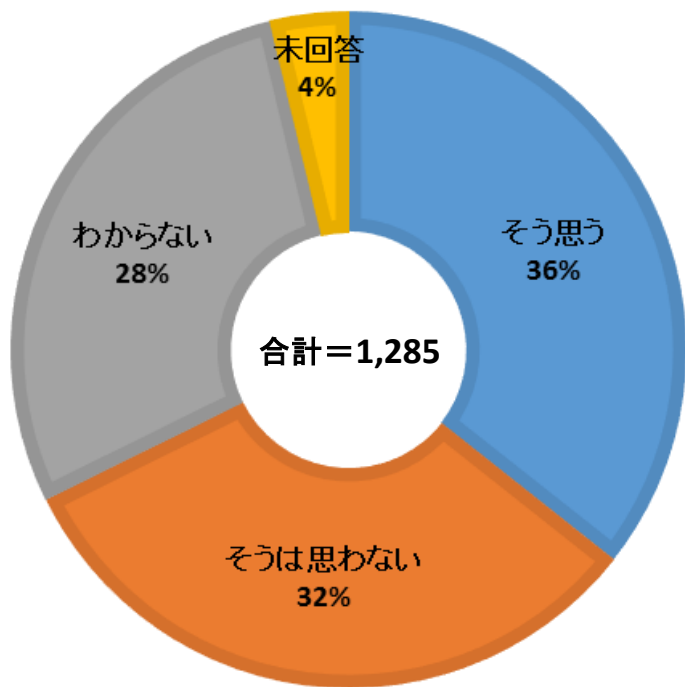
「民間委託をさらに進めるべき」が37%、「現状を維持すべき」が35%と、約7割の方が民間委託の取組に賛成しています。



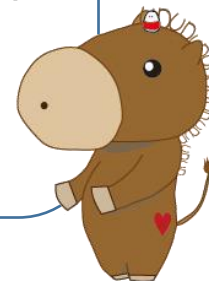
選択肢	回答数	構成比
民間委託を更に進めるべき	478	37%
現状を維持すべき	449	35%
民間委託をやめる(縮小)	64	5%
わからない	259	20%
未回答	35	3%
合計	1,285	100%

新庁舎の建設

問54 あなたは、新しい市役所庁舎の建設を早めに進めるべきだと思いますか？(○は1つ)



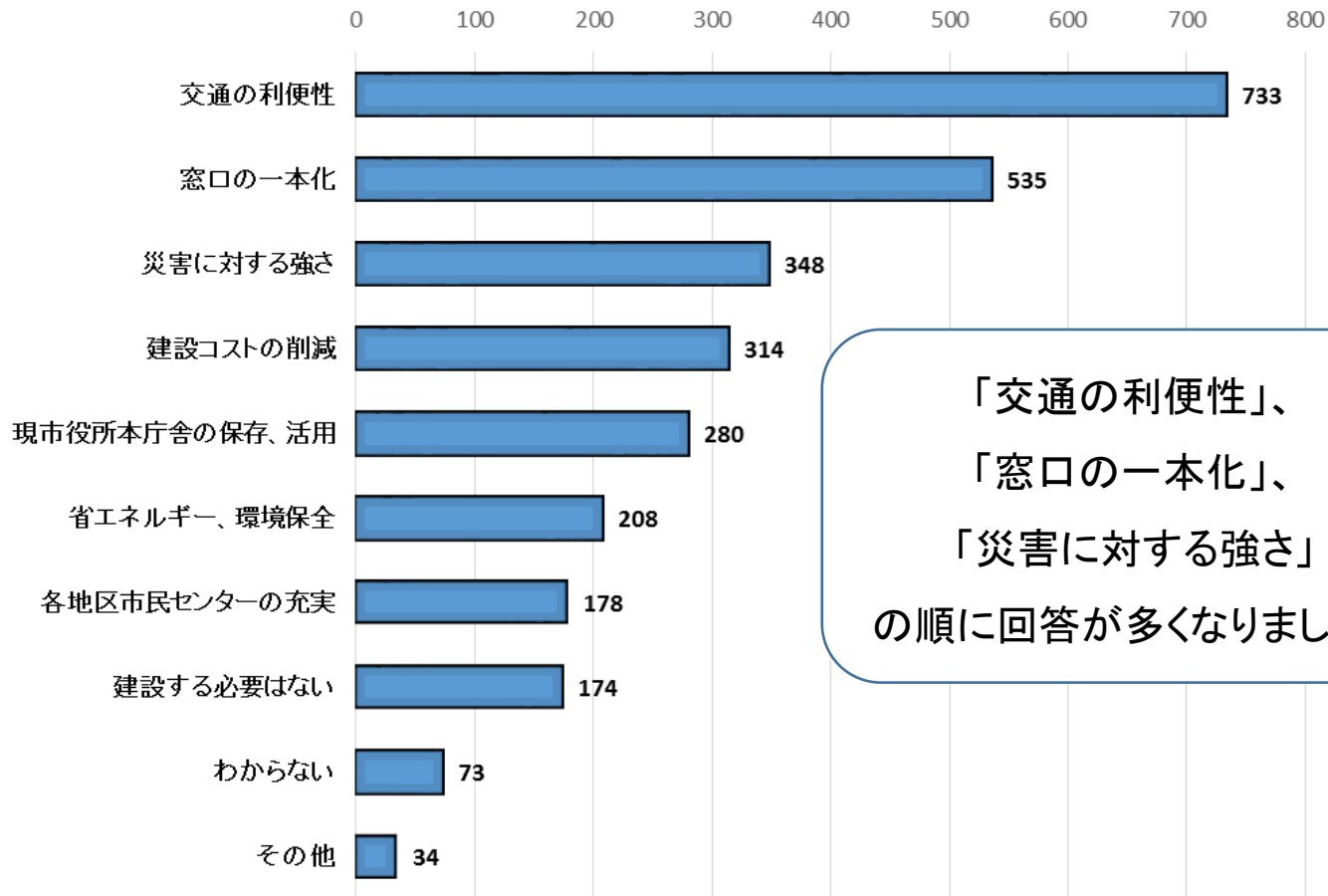
「そう思う」が36%、
「そうは思わない」が32%
となり、「そう思う」が若干
「そうは思わない」を
上回りました。



選択肢	回答数	構成比
そう思う	458	36%
そうは思わない	412	32%
わからない	367	28%
未回答	48	4%
合計	1,285	100%

新庁舎に必要なこと

問56 新しい市役所庁舎を建設する場合、主に配慮すべき点はどのような点だと思いますか？
(〇は3つまで)

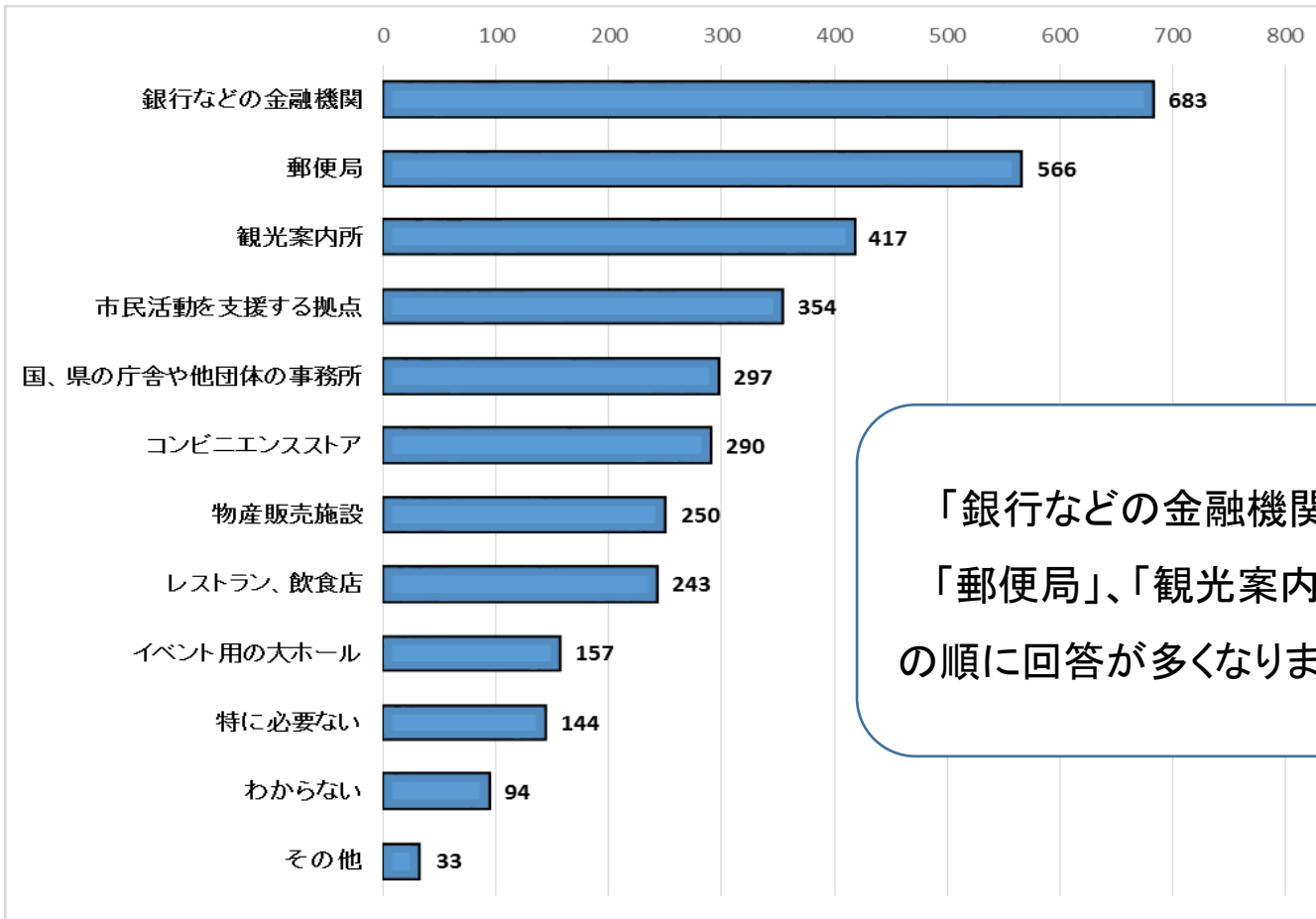


「交通の利便性」、
「窓口の一本化」、
「災害に対する強さ」
の順に回答が多くなりました。



新庁舎に併設すべき施設

問57 新しい市役所庁舎を建設する場合、庁舎の中に、どのような施設が併設されていれば良いと思いますか？(〇はいくつでも)



「銀行などの金融機関」、
「郵便局」、「観光案内所」
の順に回答が多くなりました。



各種施策の満足度

問59 市では、平成18年度に策定した第6次長期総合計画のもと、各種政策を推進しています。
次表の市の政策についてどうお考えですか？
それぞれの政策の満足度(1満足、2やや満足、3普通、4やや不満、5不満、6わからない)
について、あてはまるものを1つずつ選んで、該当する数字に○印をつけてください。

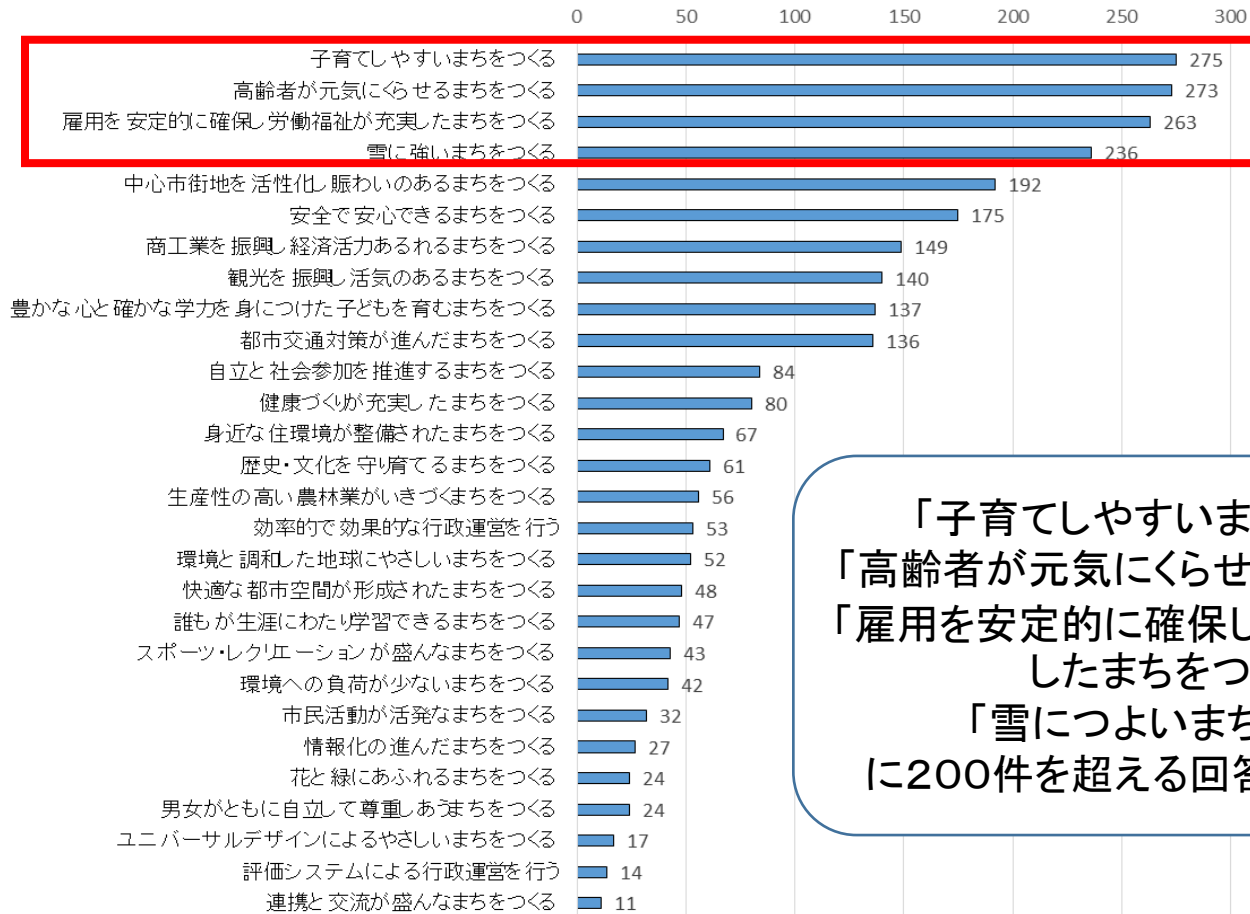
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	未回答
子育てしやすいまちをつくる	46	91	510	174	84	294	86
高齢者が元気にくらせるまちをつくる	45	95	512	239	154	173	67
自立と社会参加を推進するまちをつくる	30	83	523	218	102	254	75
健康づくりが充実したまちをつくる	47	97	636	170	89	170	76
誰もが生涯にわたり学習できるまちをつくる	44	133	584	158	83	208	75
豊かな心と確かな学力を身につけた子どもを育むまちをつくる	36	105	543	184	80	250	87
スポーツ・レクリエーションが盛んなまちをつくる	41	135	583	177	82	182	85
歴史・文化を守り育てるまちをつくる	88	265	519	139	53	140	81
観光を振興し活気のあるまちをつくる	70	211	444	231	134	116	79
商工業を振興し経済活力あるまちをつくる	32	86	418	293	208	162	86
中心市街地を活性化し賑わいのあるまちをつくる	29	54	281	327	373	138	83
雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる	30	41	310	353	308	161	82
生産性の高い農業がいきづまちをつくる	26	41	384	254	207	291	82
環境と調和した地球にやさしいまちをつくる	26	103	618	135	60	231	112
環境への負荷が少ないまちをつくる	43	169	620	148	58	139	108
安全で安心できるまちをつくる	57	126	595	192	67	136	112
情報化の進んだまちをつくる	36	77	568	211	92	182	119
花と緑にあふれるまちをつくる	64	195	591	149	67	108	111
快適な都市空間が形成されたまちをつくる	32	81	499	266	120	172	115
都市交通対策が進んだまちをつくる	28	77	432	319	200	120	109
身近な住環境が整備されたまちをつくる	57	126	534	223	123	115	107
雪に強いまちをつくる	36	78	308	362	307	90	104
ユニバーサルデザインによるやさしいまちをつくる	22	35	503	153	87	355	130
男女がともに自立して尊重しあうまちをつくる	30	48	552	166	104	261	124
市民活動が活発なまちをつくる	30	84	592	167	62	228	122
連携と交流が盛んなまちをつくる	37	96	548	163	46	269	126
評価システムによる行政運営を行う	29	50	500	146	75	361	124
効率的で効果的な行政運営を行う	28	49	466	153	88	379	122

全体的に「普通」と回答した方が多かったです。



今後のまちづくりの重点施策

問60 今後のまちづくりの重点政策について伺います。
問59の①から④までの政策のうち、市として重点的に取り組むべきと思う政策を選んで、その番号をご記入ください(○は3つまで)



「子育てしやすいまちをつくる」、
「高齢者が元気にくらせるまちをつくる」、
「雇用を安定的に確保し労働福祉が充実したまちをつくる」、
「雪につよいまちをつくる」
に200件を超える回答がありました。

